

平成 29 年度
始良市
市民満足度調査
報告書

平成 29 年 12 月
始良市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	2
2.	調査地域	2
3.	調査方法	2
4.	調査票	2
5.	回収状況	2
6.	本報告書を見る際の注意事項	2
7.	標本誤差	3
II	調査結果の概要	4
III	第1部 あなた自身のこと、考えについて 調査結果	8
IV	第2部 始良市の市政運営、施策について 調査結果	53
V	アンケート調査表	242

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本市が実施している各分野の施策について、第1次総合計画の達成度を計測するとともに、市政やまちづくりに関する市民の満足度、要望を把握する。

また、分析結果から得られた政策課題を抽出することにより、第2次総合計画策定の基礎資料とする。

2. 調査地域

始良市全域

3. 調査方法

(1) 調査対象

18歳以上の市民3,000人

(2) 抽出方法

平成29年8月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

(3) 調査方法

郵送にて配布

回収については、郵送による回収及び本市ホームページ上での回答

(4) 調査期間

平成29年8月14日～平成29年8月31日

4. 調査票

巻末に添付した調査票による

5. 回収状況

- | | |
|-----------|--------|
| (1) 配布数 | 3,000件 |
| (2) 有効回答数 | 1,313件 |
| (3) 有効回答率 | 43.8% |

6. 本報告書を見る際の注意事項

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 集計表の全体に、「性別」、「年齢」等の区分けをしているが、各区分に無回答データが含まれているため、各区分の小計と合計の数値が異なる場合がある。
- (4) 地区については下記小学校区を割り当てている。

地区名	小学校区
蒲生地区	蒲生小学校区、漆小学校区、西浦小学校区
始良地区	始良小学校区、建昌小学校区、帖佐小学校区、松原なぎさ小学校区、重富小学校区、西始良小学校区、北山小学校区、三船小学校区、山田小学校区
加治木地区	加治木小学校区、柁城小学校区、錦江小学校区、永原小学校区、竜門小学校区

7. 標本誤差

今回の調査は、始良市の18歳以上の男女（以後「母集団全体」とする）から無作為に対象者3,000人を抽出している。

繰り返し同じ調査を数回行った場合、回答者が変化するため回答率や各項目における回答比率についても変化すると考えられる。

したがって、今回の調査結果と母集団全体の回答における誤差【標本誤差】を算出式により以下に示す。

<算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数（始良市の18歳以上の男女）

n=比率算出の基数（回答サンプル数）

p=回答比率（ $0 \leq p \leq 1$ ）

<早見表>

回答比率 (p) 標本数	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,313	±1.20	±1.66	±2.21	±2.53	±2.70	±2.76

統計学上の標本誤差は最大で±2.76%以内であり、信頼できる調査結果であると判断できる。

※常用における結果は、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として簡略算出しているが、これは有限母集団修正項というものである。なお、この計算式の信頼度は、以下に述べる理由により99%である。

母集団数（始良市の18歳以上の男女）が、平成29年8月31日現在で、推定63,457人であるとするならば、その数値を比率算出の基数（有効回答数）で割ると、標本抽出率は0.02%である。

母集団数が1,000以上のケースにおいては、標本抽出率が今回の場合のように1.0%以下であれば、下記の標本抽出率の表を見ると有限な集団修正項は0.995と限りなく1に近いため、標本誤差には1%以下の違いしか生じない。

母集団数 (N)	標本集抽出率							
	50.0%	20.0%	10.0%	5.0%	2.0%	1.0%	0.5%	0.2%
1,000	0.707	0.895	0.949	0.975	0.990	0.995	0.998	0.999

そのため、今回の調査においては「標本抽出率が1.0%以下なら有限母集団修正項は1とする」と判断した。一般的に、仮説的無限母集団の下での、より単純な定式化を利用して推論を行うことが、分析精度として許容される。

Ⅱ. 調査結果の概要

Ⅱ. 調査結果の概要

第2次始良市総合計画策定の市民満足度調査結果の概要・要約

第1部 あなた自身のこと、考えについて

(1) 現在の居住地での住みやすさなどについて

・始良市が好きか

始良市が好きと答えた市民が、全体で59.9%であり、どちらかといえば好きを含めると9割を超えており、前回（平成27年度調査、以下同じ）に引き続き高い数値を示している。

・「まちの一体感」を感じるか

全体としては、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を足すと約5割となっている。

10代～20代、70代以上の市民について、「まちの一体感」感じている割合が高くなっている。

・始良市の居住年数について

全体としては、30年以上居住している割合が4割を超えている。

蒲生地区、加治木地区では、30年以上居住している割合が5割を超えているが、始良地区では4割弱となっている。

・始良市の「住みやすさ」について

全体として、「大変住みやすい」が26.8%であり、「どちらかといえば住みやすい」を含めると87.6%となっており、前回に引き続き高い数値を示している。

・今後も始良市に住み続けたいか

全体として、「ずっと住み続けたい」が63.4%であり、「当分の間、住み続けたい」を含めると87.8%となっている。

前回と比較すると「ずっと住み続けたい」が3.4ポイント、「当分の間、住み続けたい」を含めると5.4ポイント増えている。

年代別に比較すると年代があがるにつれ住み続けたい割合が増えている。

・住み続けたい理由

前回と比較すると、「通勤・通学、買い物などが便利である」が6.4ポイント増えている。

また、「地域に愛着を感じている」については、9.5ポイント減少している。

地区別に見ると、蒲生地区は「豊かな自然に恵まれている」、始良地区、加治木地区は「通勤・通学、買い物などが便利である」の割合が高い。

・住み替えたい理由

前回と比較すると「買い物など日常生活が不便である」が7.3ポイント減少しているが、「地区に愛着を感じない」が9.7ポイント、「治安や公害など生活環境がよくない」が3.7ポイント増加している。

・心配事や困っていること

全体では、「事故・災害のこと」について、平成25年に11.3%だったものが、平成27年に8.6%まで減少したが、平成29年は11.2%に増加し、平成25年と同水準になっている。要因として、平成25年については、東日本大震災（平成23年）が、平成29年については、熊本地震（平成28年）の影響があると考えられる。

年代別で見ると20代では「仕事や職場のこと」、30代～40代では「子どもの保育や教育のこと」、80歳以上では「バスなどの交通手段が不便なこと」「買い物が不便なこと」の割合が高い。

地区別で見ると、蒲生地区で「バスなどの交通手段が不便なこと」「買い物が不便なこと」の割合が高い。

第2部 始良市の市政運営、施策について

(2) 行政サービスのあり方について

・今後の行政サービスのあり方について

「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」という意見と「行政サービスのあり方を元から考え直し、負担のない方法を考えるべきである」という意見がどちらも約4割となっている。

年代別に見ると20代は、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」が5割を超えて最も多い意見となっている。

60代は、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」が4割弱と最も少ない意見となっている。

・市が実施している施策の満足度と今後の重要度について

満足度の平均値は3.15、重要度の平均値は3.98となっている。

平均値については、前回平均（満足度3.13、重要度3.94）、前々回（平成26年度調査、以下同じ）平均（満足度3.12、重要度3.92）と比較しても大きな変化はない。

・満足度と今後の重要度の相関図による分析

（重要度と満足度を平均値と比較し、各分野の位置づけを以下のように4つに分類した。）

A. 重要度が高く満足度が低い（優先的課題領域）

- 4-1. 子育てを支援するための基盤整備の推進
- 5-1. 学校教育の充実
- 7-1. 高齢者が安心して暮らすための環境整備
- 9-1. 障がい者が地域で安心して暮らすための環境整備
- 10-1. 要支援者等に対する社会福祉の推進
- 13-1. 災害に強い生活基盤の整備
- 13-5. 安心して相談できる体制の充実
- 14-1. 交通環境の整備・充実
- 14-2. 公共交通網の維持・強化
- 15-1. 良好な住宅環境の整備
- 17-2. 多様な人材の活用・育成と雇用環境の向上

B. 重要度、満足度ともに高い（ニーズ充足領域）

- 3-1. 安心して子どもを育てることができる支援
- 5-2. 地域ぐるみの青少年の健全育成
- 7-2. 健康で充実した高齢期を送るための支援
- 8-1. 予防を重視した健康づくりの推進
- 8-2. 安心して受けられる医療体制の整備・充実
- 12-1. 医療・介護保険・年金制度の適正な運用と啓発
- 13-2. 災害に対応する体制の整備
- 13-3. 消防・救急体制の整備
- 13-4. 防犯・交通安全対策の推進
- 15-3. 安定した飲料水の供給
- 15-4. 下水道等施策の促進
- 20-1. 循環型社会・低炭素社会の構築
- 22-3. 安定した行財政運営の推進

C. 重要度が低く満足度が高い（現状維持領域）

- 1-1. コミュニティ活動、市民活動の推進
- 2-2. 人権の尊重・啓発活動の推進
- 6-1. 生涯学習推進体制の充実
- 6-2. 健康な心と体を育むスポーツ・レクリエーションの推進
- 6-3. 歴史を活かした多彩な文化の育成
- 6-4. 豊かな心を育む文化芸術の振興
- 15-6. 斎場・墓地環境の整備
- 22-2. 開かれた行政の推進

D. 重要度、満足度ともに低い（選択的課題領域）

- 2-1. 男女共同参画の推進
- 6-5. 国際感覚を育む交流活動の推進
- 11-1. 安心して生活することができる地域福祉の推進
- 14-3. 情報通信基盤の整備と利用促進
- 15-2. 美しいまちなみと公園、緑地の整備
- 15-5. 計画的なまちづくりの推進
- 16-1. 農業の振興
- 16-2. 畜産業の振興
- 16-3. 林業の振興
- 16-4. 特用林産の振興
- 16-5. 水産業の振興
- 17-1. 商工業等の振興
- 18-1. 観光の振興
- 19-1. 特産品の開発とブランド化
- 19-2. 販売拠点の整備・充実
- 21-1. 自然環境の保全
- 21-2. 環境対策の充実
- 21-3. 環境教育の推進
- 22-1. 経営感覚に立った行財政改革の推進

今後のまちづくりについて

・ 少子高齢化による人口減少に対する施策

少子高齢化による人口減少に対する施策については、「出産後も就労を継続できるように保育環境等を整備する施策」と「高齢者が安心して生活できる地域をつくる施策」という回答が約6割となっている。

・ 市民の参加について

計画策定やまちづくりへの市民の参加については、「ホームページや広報誌等による情報の共有」（42.0%）、次いで「アンケート調査による参加」（38.2%）の割合が高くなっている。

・ 取り組むべき重要な項目

前回と比較すると「子育て支援の充実」「地場産業の振興と雇用の確保」「観光資源を活かした交流人口の拡大」の割合が増加している。

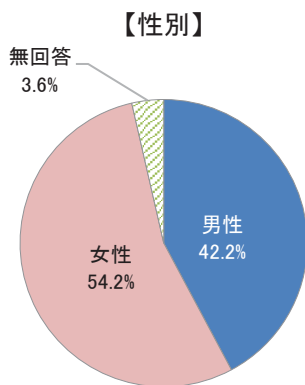
また、「防災・防犯体制の整備」については割合が減少している。

Ⅲ. 第 1 部 あなた自身のこと、考えについて 調査結果

問1 それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

(1) あなたの性別は

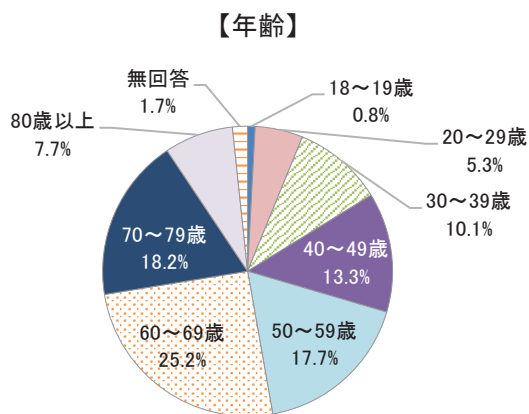
性別について、「男性」が42.2%、「女性」が54.2%となっている。



(n=1,313)

(2) あなたの年齢は

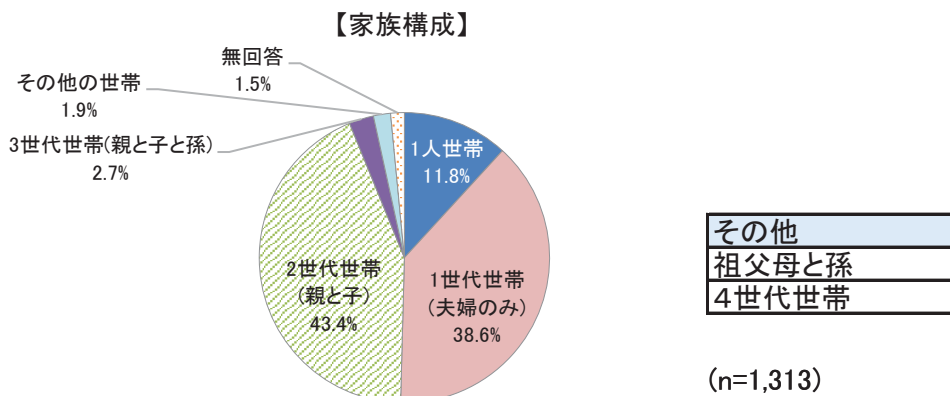
年齢について、「60～69歳」(25.2%)の割合が最も高く、次いで「70～79歳」(18.2%)、「50～59歳」(17.7%)となっている。



(n=1,313)

(3) あなたの家族構成は

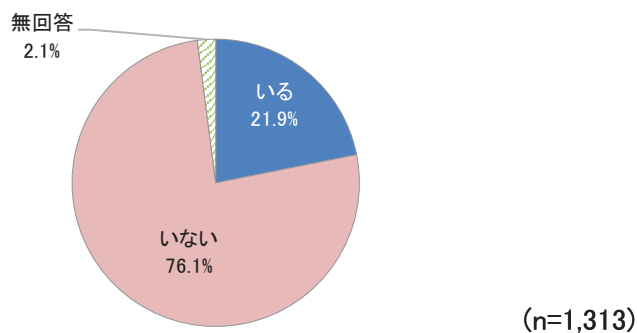
家族構成について、「2 世代世帯(親と子)」(43.4%)の割合が最も高く、次いで「1 世代世帯(夫婦のみ)」(38.6%)、「1 人世帯」(11.8%)となっている。



(4) あなたの家族(同居)に18歳未満の子どもはいますか

家族に18歳未満の子どもがいるかについて、「いる」が21.9%、「いない」が76.1%となっている。

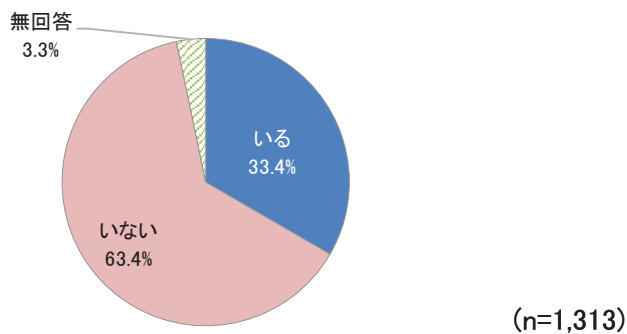
【家族に18歳未満の子どもがいるか】



(5) あなたの家族(同居)に65歳以上の方はいますか

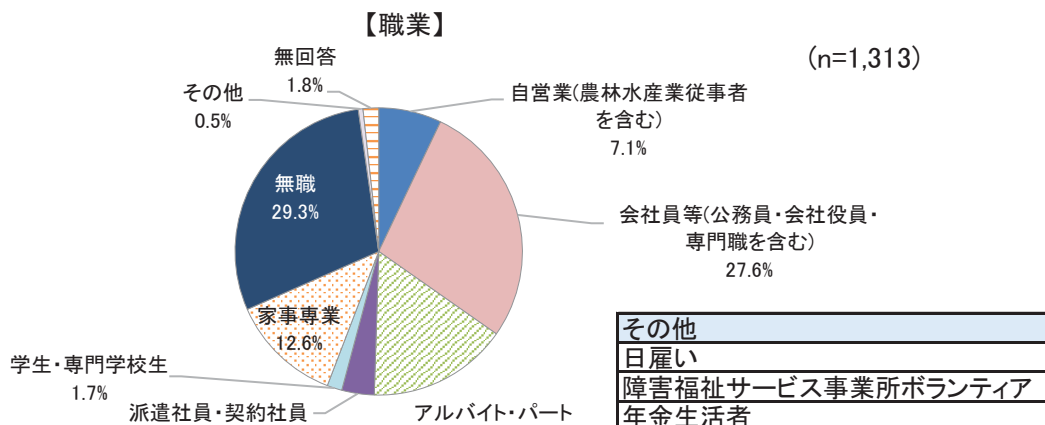
家族に65歳以上の方がいるかについて、「いる」が33.4%、「いない」が63.4%となっている。

【家族に65歳以上の方がいるか】



(6) あなたのご職業は

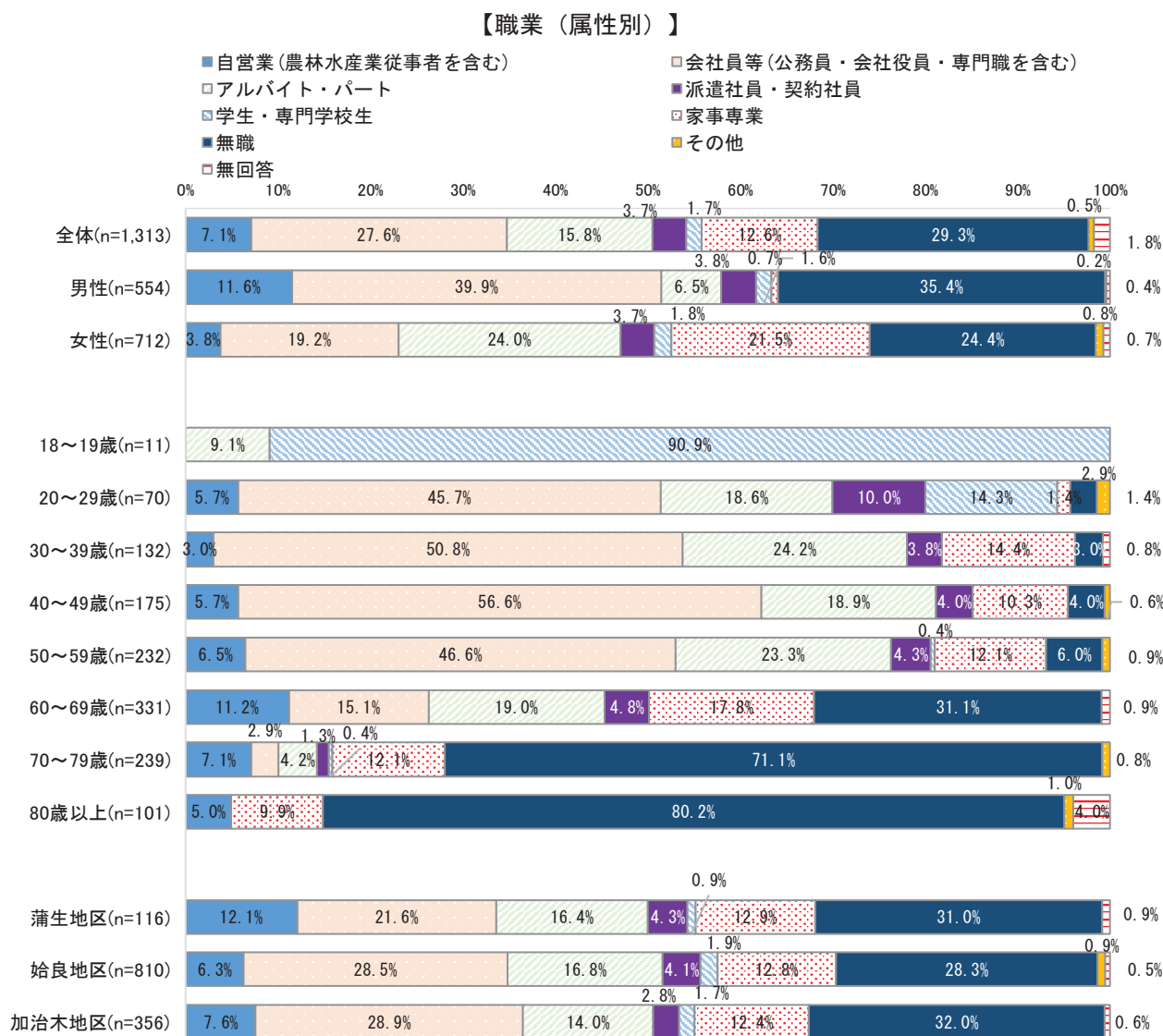
職業について、「無職」(29.3%)の割合が最も高く、次いで「会社員等(公務員・会社役員・専門職を含む)」(27.6%)、「アルバイト・パート」(15.8%)となっている。



性別でみると、女性(24.4%)は「無職」、男性(39.9%)は「会社員等(公務員・会社役員・専門職を含む)」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、60～69歳(31.1%)・70～79歳(71.1%)・80歳以上(80.2%)は「無職」、18～19歳(90.9%)は「学生・専門学校生」、20～29歳(45.7%)・30～39歳(50.8%)・40～49歳(56.6%)・50～59歳(46.6%)は「会社員等(公務員・会社役員・専門職を含む)」の割合が最も高くなっている。

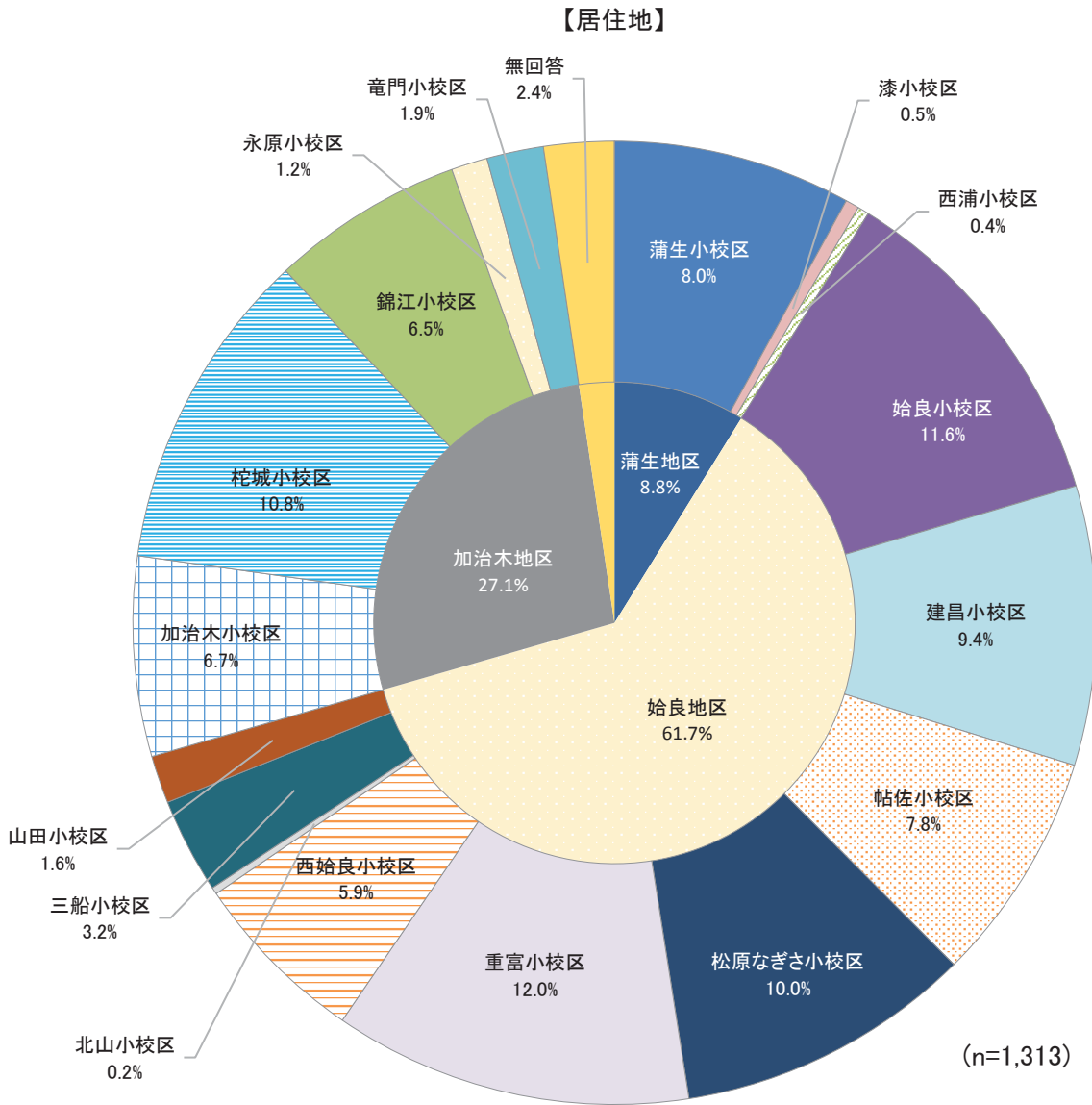
地区別でみると、蒲生地区(31.0%)・加治木地区(32.0%)は「無職」、始良地区(28.5%)は「会社員等(公務員・会社役員・専門職を含む)」の割合が最も高くなっている。



(7) あなたの居住地はどちらの小学校区にありますか

居住地について、「重富小校区」(12.0%)の割合が最も高く、次いで「始良小校区」(11.6%)、「柁城小校区」(10.8%)、となっている。

地区別では「始良地区」(61.7%)、「加治木地区」(27.1%)、「蒲生地区」(8.8%)となっており、人口比率と類似している。



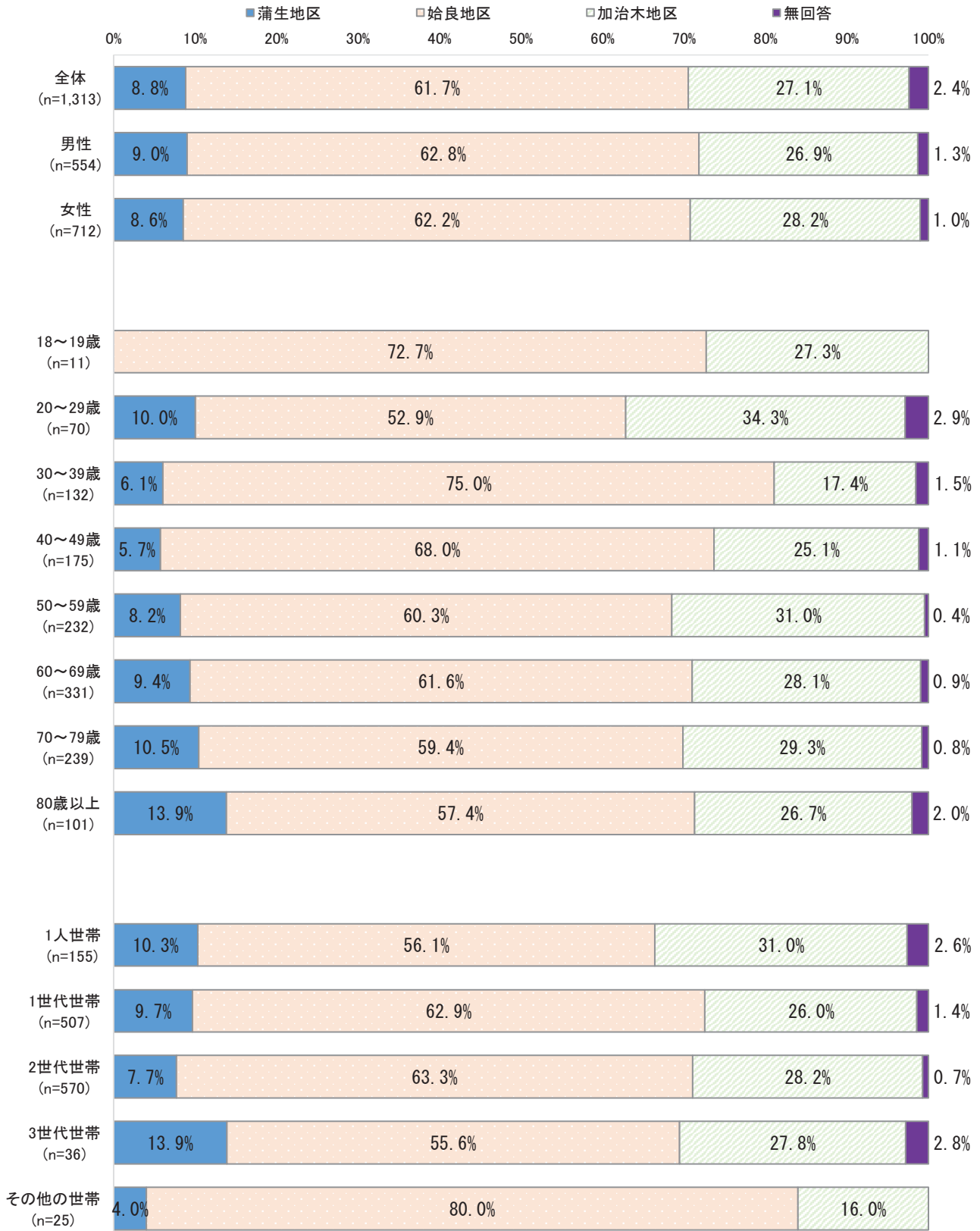
【参考】始良市地区別人口比率（平成29年8月1日）

地区	人数	構成比
始良市全体	76,893人	100.0%
始良地区	48,871人	63.6%
加治木地区	21,490人	28.0%
蒲生地区	6,532人	8.4%

性別で見ると、男性（62.8%）・女性（62.2%）ともに「始良地区」の割合が最も高くなっている。
 年代別で見ると、18～19歳（72.7%）・20～29歳（52.9%）・30～39歳（75.0%）・40～49歳（68.0%）・50～59歳（60.3%）・60～69歳（61.6%）・70～79歳（59.4%）・80歳以上（57.4%）すべてにおいて「始良地区」の割合が最も高くなっている。

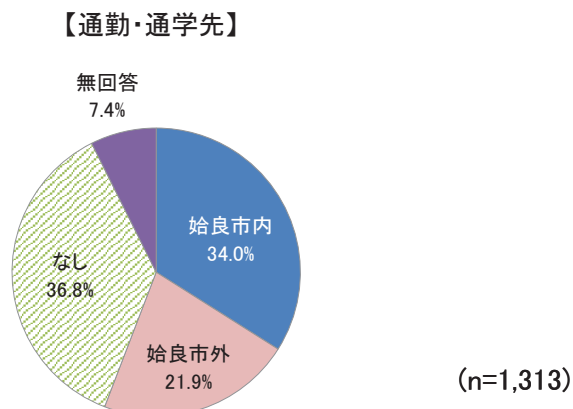
世帯別で見ると、1人世帯（56.1%）・1世代世帯（夫婦のみ）（62.9%）・2世代世帯（親と子）（63.3%）・3世代世帯（親と子と孫）（55.6%）・その他の世帯（80.0%）すべてにおいて「始良地区」の割合が最も高くなっている。

【居住地（属性別）】



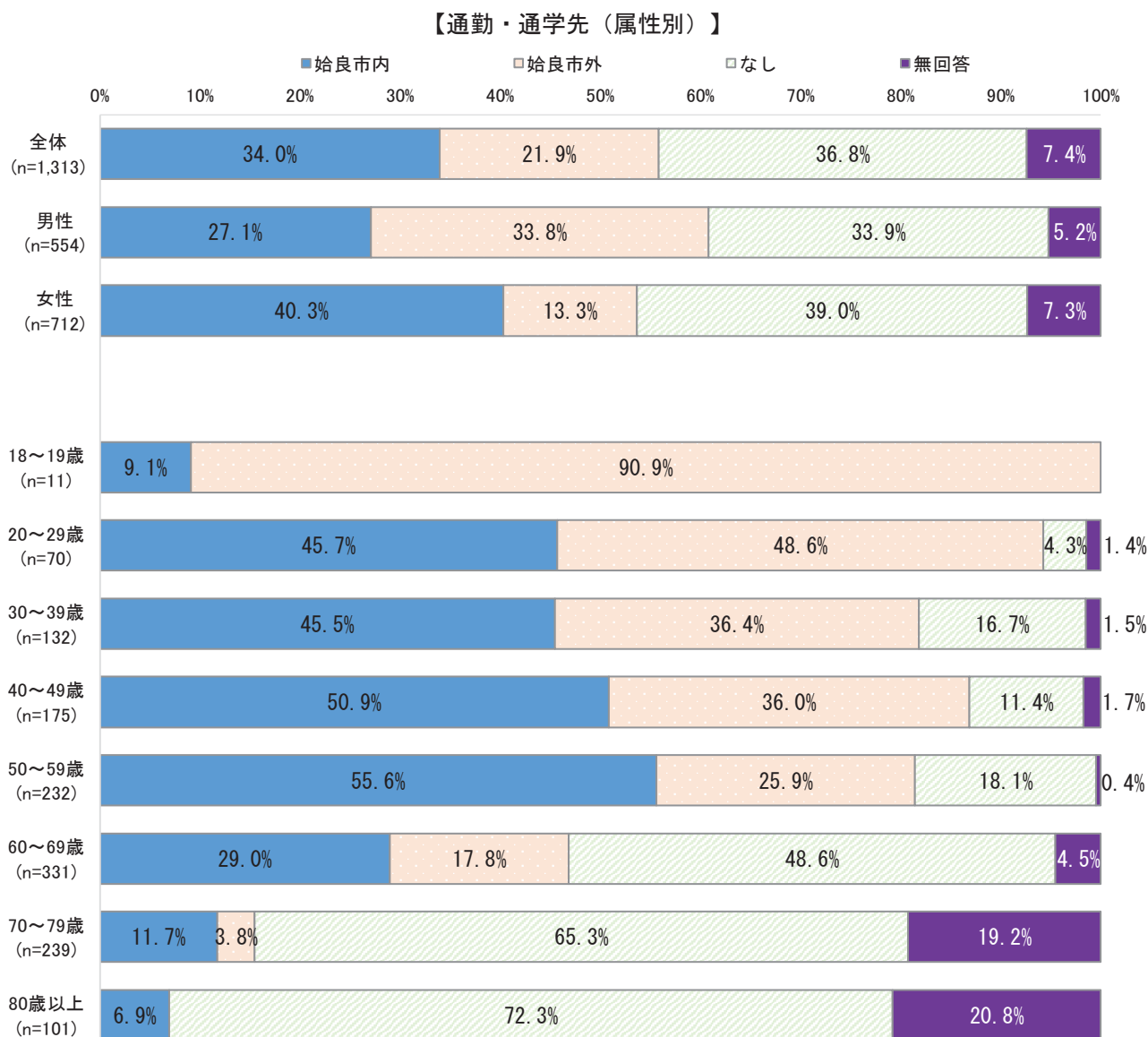
(8) あなたの通勤（職場）・通学先（学校）は

通勤・通学先について、「なし」（36.8%）の割合が最も高く、次いで「始良市内」（34.0%）、「始良市外」（21.9%）となっている。



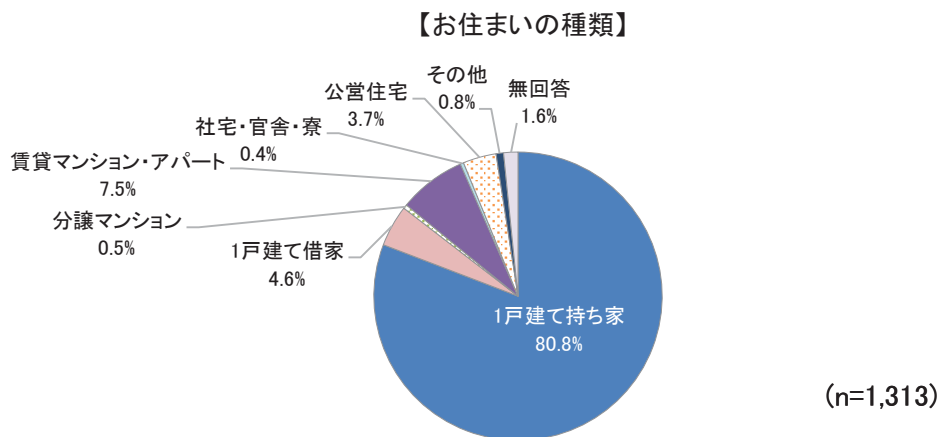
性別でみると、女性（40.3%）は「始良市内」、男性（33.9%）は「なし」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、30～39歳（45.5%）・40～49歳（50.9%）・50～59歳（55.6%）は「始良市内」、18～19歳（90.9%）・20～29歳（48.6%）は「始良市外」、60～69歳（48.6%）・70～79歳（65.3%）・80歳以上（72.3%）は「なし」の割合が最も高くなっている。



(9) 現在のお住まいの種類は

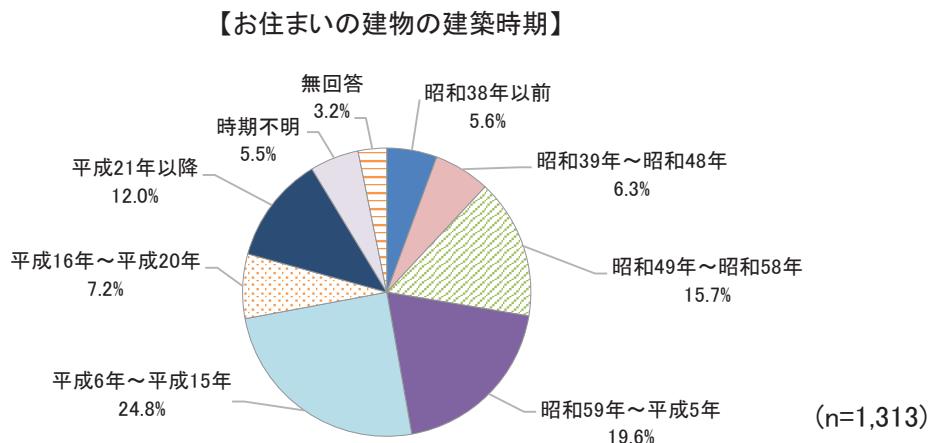
お住まいの種類について、「1戸建て持ち家」(80.8%)の割合が最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」(7.5%)、「1戸建て借家」(4.6%)となっている。



その他
店舗付き住宅
親の持ち家
子供の家

(10) 現在のお住まいの建物の建築時期は

お住まいの建物の建築時期について、「平成6年～平成15年」(24.8%)の割合が最も高く、次いで「昭和59年～平成5年」(19.6%)、「昭和49年～昭和58年」(15.7%)となっている。



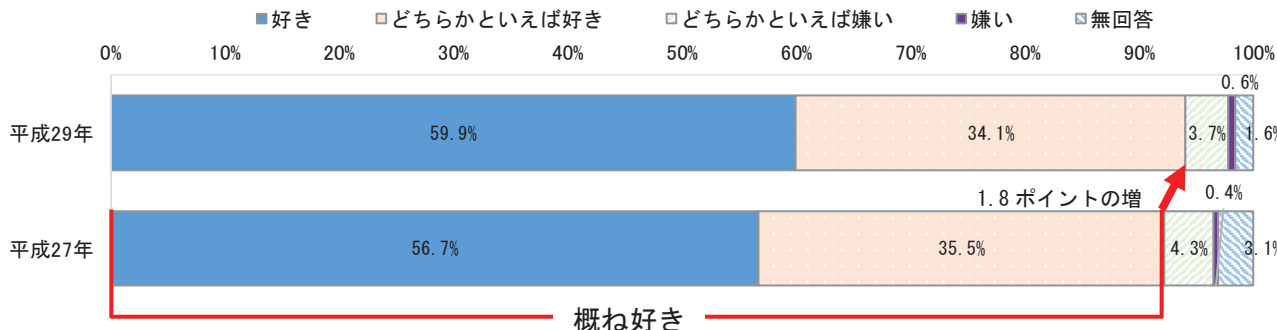
現在の居住地での住みやすさなどについておたずねします。

問2 あなたは、始良市が好きですか。(○印は1つ)

始良市を好きかについて、「概ね好き(好き(59.9%) + どちらかといえば好き(34.1%)、以下同じ)」とする割合が9割以上と大部分を占めている。

前回調査と比較すると、「概ね好き」とする割合は1.8ポイント増加している。

【始良市が好きか(経年比較)】



【始良市が好きか(属性別)】

属性		サンプル数	好き	どちらかとい えば好き	どちらかとい えば嫌い	嫌い	無回答
全体		1313	787 59.9%	448 34.1%	49 3.7%	8 0.6%	21 1.6%
性別	男性	554	327 59.0%	200 36.1%	19 3.4%	3 0.5%	5 0.9%
	女性	712	432 60.7%	237 33.3%	27 3.8%	5 0.7%	11 1.5%
年代別	18~19歳	11	8 72.7%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%
	20~29歳	70	43 61.4%	23 32.9%	3 4.3%	0 0.0%	1 1.4%
	30~39歳	132	80 60.6%	47 35.6%	4 3.0%	1 0.8%	0 0.0%
	40~49歳	175	103 58.9%	64 36.6%	5 2.9%	2 1.1%	1 0.6%
	50~59歳	232	134 57.8%	86 37.1%	5 2.2%	2 0.9%	5 2.2%
	60~69歳	331	194 58.6%	116 35.0%	16 4.8%	1 0.3%	4 1.2%
	70~79歳	239	137 57.3%	86 36.0%	11 4.6%	1 0.4%	4 1.7%
	80歳以上	101	74 73.3%	23 22.8%	4 4.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地別	蒲生地区	116	79 68.1%	29 25.0%	6 5.2%	1 0.9%	1 0.9%
	始良地区	810	501 61.9%	264 32.6%	33 4.1%	4 0.5%	8 1.0%
	加治木地区	356	191 53.7%	148 41.6%	9 2.5%	2 0.6%	6 1.7%
居住年別	1年未満	27	13 48.1%	11 40.7%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%
	1~5年	101	53 52.5%	39 38.6%	8 7.9%	1 1.0%	0 0.0%
	5~10年	101	64 63.4%	32 31.7%	4 4.0%	1 1.0%	0 0.0%
	10~30年	490	287 58.6%	181 36.9%	16 3.3%	1 0.2%	5 1.0%
	30年以上	578	367 63.5%	183 31.7%	18 3.1%	4 0.7%	6 1.0%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

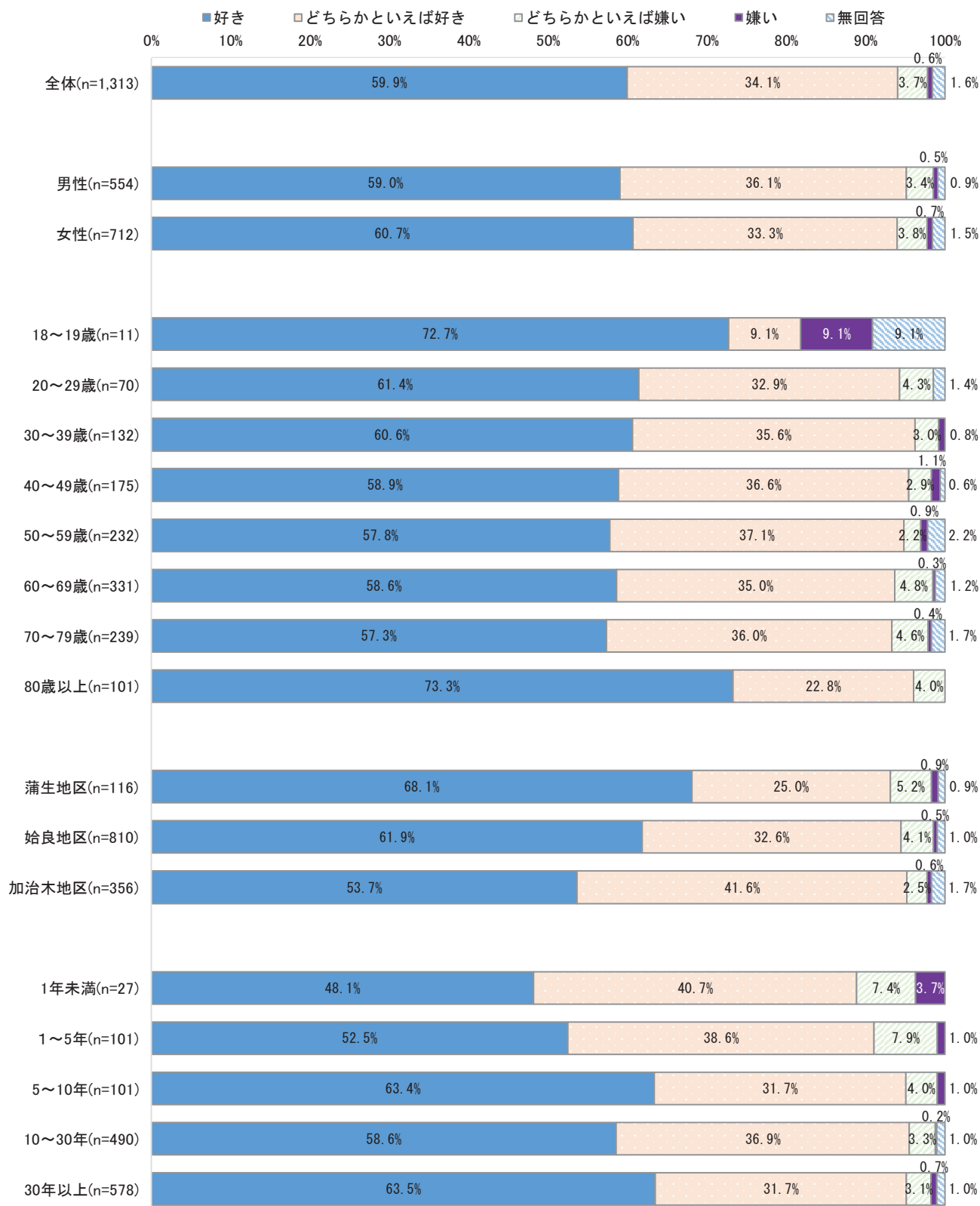
性別でみると、男性・女性ともに「概ね好き」とする割合が9割以上を占めている。

年代別でみると、20歳代以上では「概ね好き」とする割合が9割以上を占めている。一方、10歳代では8割が「概ね好き」と回答しているものの、約1割は「嫌い」と回答している。

地区別でみると、蒲生地区・始良地区・加治木地区すべてにおいて「概ね好き」とする割合が9割を占めている。

居住期間別でみると、「概ね好き」とする割合は、1年未満においては、8割強を占め、1年以上5年未満・5年以上10年未満・10年以上30年未満・30年以上のいずれも9割以上を占めている。

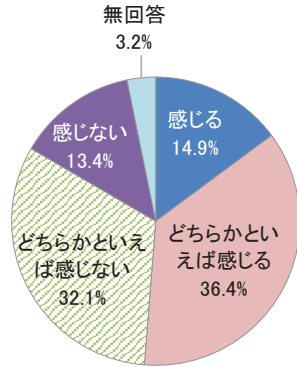
【始良市が好きか（属性別）】



問3 あなたは、始良市としての「まちの一体感」を感じますか。(〇印は1つ)

「まちの一体感」を感じるかについて、「どちらかといえば感じる」(36.4%)の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば感じない」(32.1%)、「感じる」(14.9%)、「感じない」(13.4%)の順となっており、「概ね感じる(感じる+どちらかといえば感じる)」とする割合は半数以上を占めている。

【「まちの一体感」を感じるか】



(n=1,313)

【「まちの一体感」を感じるか(属性別)】

属性		サンプル数	感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	感じない	無回答
全体		1313	195 14.9%	478 36.4%	422 32.1%	176 13.4%	42 3.2%
性別	男性	554	80 14.4%	192 34.7%	187 33.8%	82 14.8%	13 2.3%
	女性	712	110 15.4%	263 36.9%	227 31.9%	89 12.5%	23 3.2%
年代別	18～19歳	11	2 18.2%	7 63.6%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	20～29歳	70	9 12.9%	30 42.9%	16 22.9%	13 18.6%	2 2.9%
	30～39歳	132	15 11.4%	46 34.8%	47 35.6%	23 17.4%	1 0.8%
	40～49歳	175	16 9.1%	67 38.3%	61 34.9%	28 16.0%	3 1.7%
	50～59歳	232	26 11.2%	86 37.1%	79 34.1%	36 15.5%	5 2.2%
	60～69歳	331	43 13.0%	114 34.4%	124 37.5%	39 11.8%	11 3.3%
	70～79歳	239	46 19.2%	86 36.0%	75 31.4%	24 10.0%	8 3.3%
	80歳以上	101	34 33.7%	33 32.7%	18 17.8%	10 9.9%	6 5.9%
居住地別	蒲生地区	116	23 19.8%	42 36.2%	34 29.3%	11 9.5%	6 5.2%
	始良地区	810	110 13.6%	288 35.6%	266 32.8%	127 15.7%	19 2.3%
	加治木地区	356	54 15.2%	136 38.2%	119 33.4%	37 10.4%	10 2.8%
居住年別	1年未満	27	2 7.4%	9 33.3%	8 29.6%	7 25.9%	1 3.7%
	1～5年	101	8 7.9%	48 47.5%	28 27.7%	16 15.8%	1 1.0%
	5～10年	101	11 10.9%	30 29.7%	41 40.6%	16 15.8%	3 3.0%
	10～30年	490	60 12.2%	199 40.6%	157 32.0%	65 13.3%	9 1.8%
	30年以上	578	114 19.7%	190 32.9%	187 32.4%	71 12.3%	16 2.8%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

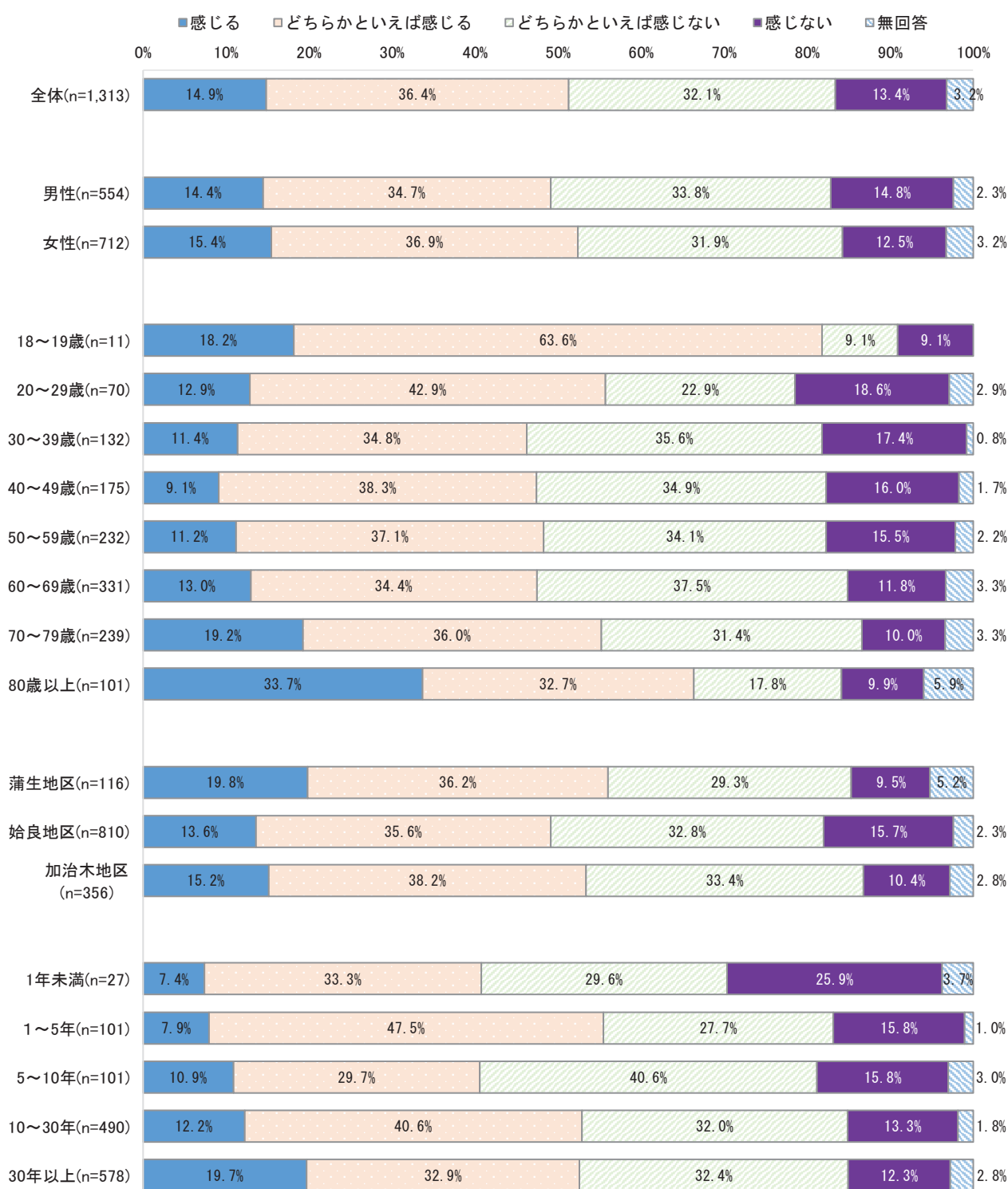
性別でみると、男性（34.7%）・女性（36.9%）はともに「どちらかといえば感じる」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、80歳以上（33.7%）は「感じる」、18～19歳（63.6%）・20～29歳（42.9%）・40～49歳（38.3%）・50～59歳（37.1%）・70～79歳（36.0%）は「どちらかといえば感じる」、30～39歳（35.6%）・60～69歳（37.5%）は「どちらかといえば感じない」の割合が最も高くなっている。

地区別でみると、蒲生地区（36.2%）・始良地区（35.6%）・加治木地区（38.2%）すべてにおいて「どちらかといえば感じる」の割合が最も高くなっている。

居住期間別でみると、1年未満（33.3%）・1～5年（47.5%）・10～30年（40.6%）・30年以上（32.9%）は「どちらかといえば感じる」、5～10年（40.6%）は「どちらかといえば感じない」の割合が最も高くなっている。

【「まちの一体感」を感じるか（属性別）】

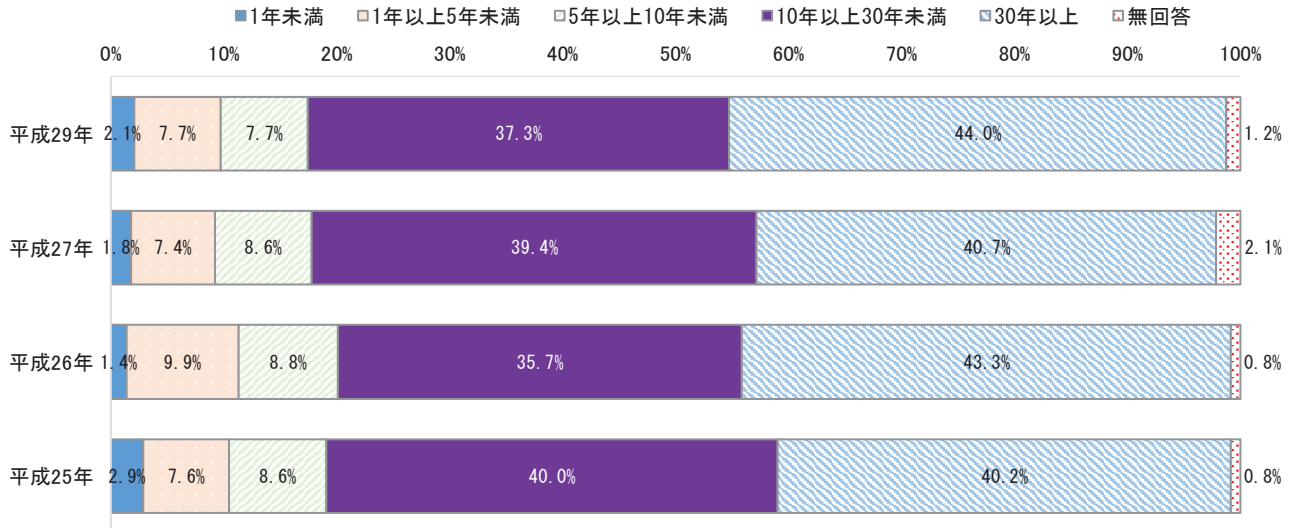


問4 あなたは、始良市にお住まいになって何年位になりますか。(○印は1つ)

始良市に住んで何年くらいになるかについて、「30年以上」(44.0%)が最も多く、次いで「10年以上30年未満」(37.3%)の順になっている。

前回調査と比較しても、大きな変化はみられなかった。

【始良市に住んで何年位か】



【始良市に住んで何年位か（属性別）】

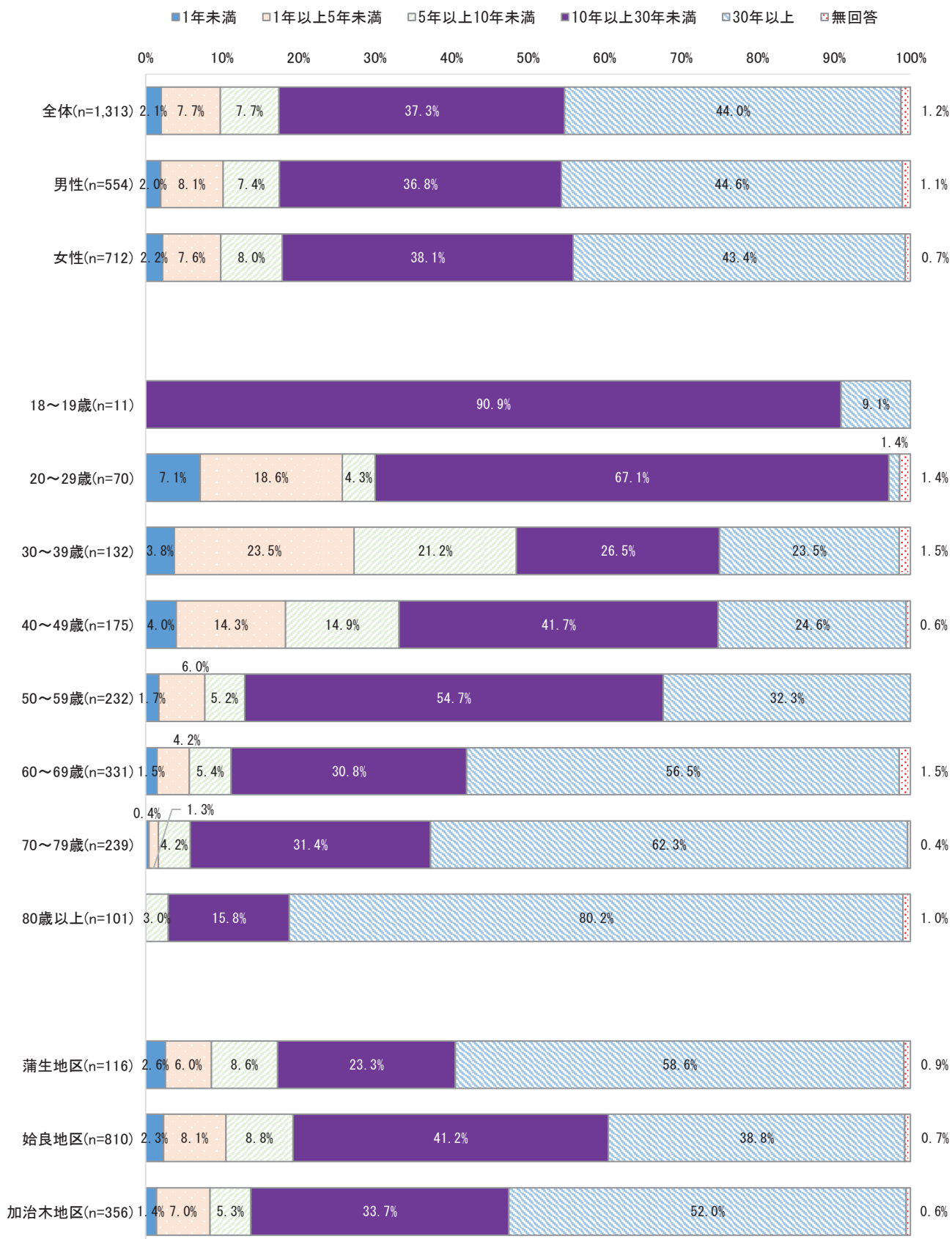
属性		サンプル数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上30年未満	30年以上	無回答
全体		1313	27 2.1%	101 7.7%	101 7.7%	490 37.3%	578 44.0%	16 1.2%
性別	男性	554	11 2.0%	45 8.1%	41 7.4%	204 36.8%	247 44.6%	6 1.1%
	女性	712	16 2.2%	54 7.6%	57 8.0%	271 38.1%	309 43.4%	5 0.7%
年代別	18～19歳	11	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%
	20～29歳	70	5 7.1%	13 18.6%	3 4.3%	47 67.1%	1 1.4%	1 1.4%
	30～39歳	132	5 3.8%	31 23.5%	28 21.2%	35 26.5%	31 23.5%	2 1.5%
	40～49歳	175	7 4.0%	25 14.3%	26 14.9%	73 41.7%	43 24.6%	1 0.6%
	50～59歳	232	4 1.7%	14 6.0%	12 5.2%	127 54.7%	75 32.3%	0 0.0%
	60～69歳	331	5 1.5%	14 4.2%	18 5.4%	102 30.8%	187 56.5%	5 1.5%
	70～79歳	239	1 0.4%	3 1.3%	10 4.2%	75 31.4%	149 62.3%	1 0.4%
	80歳以上	101	0 0.0%	0 0.0%	3 3.0%	16 15.8%	81 80.2%	1 1.0%
居住地別	蒲生地区	116	3 2.6%	7 6.0%	10 8.6%	27 23.3%	68 58.6%	1 0.9%
	始良地区	810	19 2.3%	66 8.1%	71 8.8%	334 41.2%	314 38.8%	6 0.7%
	加治木地区	356	5 1.4%	25 7.0%	19 5.3%	120 33.7%	185 52.0%	2 0.6%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

性別で見ると、男性（44.6%）・女性（43.4%）ともに「30年以上」の割合が最も高くなっている。
 年代別で見ると、60～69歳（56.5%）・70～79歳（62.3%）・80歳以上（80.2%）は「30年以上」、18～19歳（90.9%）・20～29歳（67.1%）・30～39歳（26.5%）・40～49歳（41.7%）・50～59歳（54.7%）は「10年以上30年未満」の割合が最も高くなっている。

地区別で見ると、蒲生地区（58.6%）・加治木地区（52.0%）は「30年以上」、始良地区（41.2%）は「10年以上30年未満」の割合が最も高くなっている。

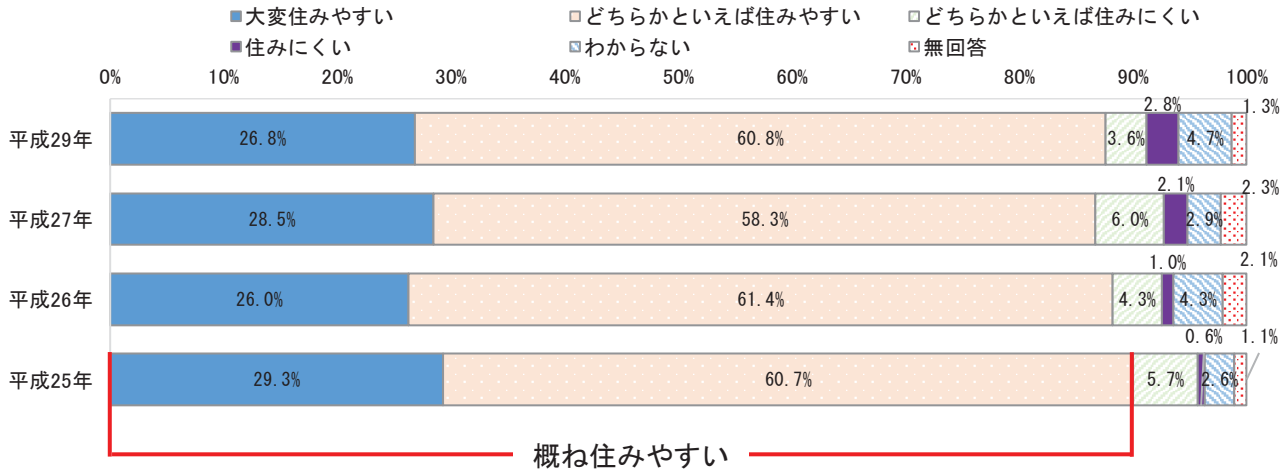
【始良市に住んで何年位か（属性別）】



問5 あなたは、始良市の「住みやすさ」についてどう感じていますか。(〇印は1つ)

始良市の「住みやすさ」について、「どちらかといえば住みやすい」(60.8%)が最も多く、次いで「大変住みやすい」(26.8%)、「わからない」(4.7%)の順になっており、8割強が「概ね住みやすい(大変住みやすい+どちらかといえば住みやすい)」と回答している。
 前回調査と比較しても、大きな変化はみられなかった。

【始良市の「住みやすさ」】



【始良市の「住みやすさ」(属性別)】

属性		サンプル数	大変住みやすい	どちらかといえ ば住みやすい	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	わからない	無回答
全体		1313	352 26.8%	798 60.8%	47 3.6%	37 2.8%	62 4.7%	17 1.3%
性別	男性	554	136 24.5%	346 62.5%	21 3.8%	15 2.7%	29 5.2%	7 1.3%
	女性	712	209 29.4%	422 59.3%	25 3.5%	19 2.7%	32 4.5%	5 0.7%
年代別	18～19歳	11	2 18.2%	7 63.6%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	20～29歳	70	22 31.4%	41 58.6%	0 0.0%	3 4.3%	3 4.3%	1 1.4%
	30～39歳	132	45 34.1%	72 54.5%	6 4.5%	3 2.3%	6 4.5%	0 0.0%
	40～49歳	175	49 28.0%	111 63.4%	7 4.0%	5 2.9%	2 1.1%	1 0.6%
	50～59歳	232	64 27.6%	141 60.8%	6 2.6%	7 3.0%	12 5.2%	2 0.9%
	60～69歳	331	81 24.5%	209 63.1%	13 3.9%	6 1.8%	18 5.4%	4 1.2%
	70～79歳	239	54 22.6%	147 61.5%	11 4.6%	9 3.8%	16 6.7%	2 0.8%
	80歳以上	101	30 29.7%	59 58.4%	4 4.0%	2 2.0%	4 4.0%	2 2.0%
居住地別	蒲生地区	116	19 16.4%	79 68.1%	5 4.3%	2 1.7%	10 8.6%	1 0.9%
	始良地区	810	234 28.9%	488 60.2%	29 3.6%	26 3.2%	27 3.3%	6 0.7%
	加治木地区	356	92 25.8%	216 60.7%	13 3.7%	8 2.2%	23 6.5%	4 1.1%
居住年別	1年未満	27	6 22.2%	16 59.3%	0 0.0%	3 11.1%	2 7.4%	0 0.0%
	1～5年	101	24 23.8%	59 58.4%	5 5.0%	8 7.9%	5 5.0%	0 0.0%
	5～10年	101	26 25.7%	61 60.4%	8 7.9%	2 2.0%	4 4.0%	0 0.0%
	10～30年	490	133 27.1%	316 64.5%	19 3.9%	6 1.2%	15 3.1%	1 0.2%
	30年以上	578	162 28.0%	345 59.7%	15 2.6%	17 2.9%	35 6.1%	4 0.7%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

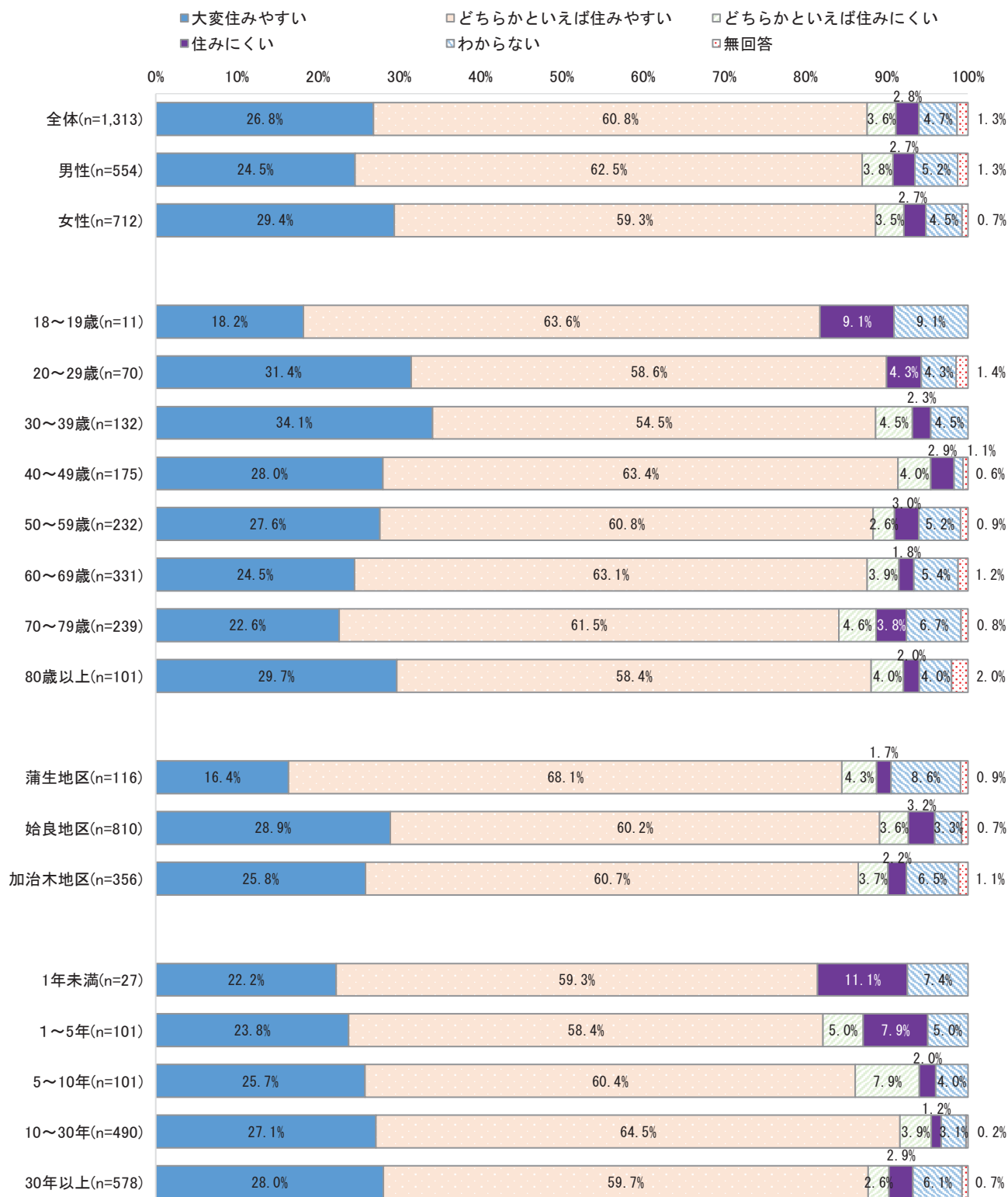
性別でみると、男性（62.5%）・女性（59.3%）ともに「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、18～19歳（63.6%）・20～29歳（58.6%）・30～39歳（54.5%）・40～49歳（63.4%）・50～59歳（60.8%）・60～69歳（63.1%）・70～79歳（61.5%）・80歳以上（58.4%）すべてにおいて「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高くなっている。

地区別でみると、蒲生地区（68.1%）・始良地区（60.2%）・加治木地区（60.7%）すべてにおいて「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高くなっている。

居住期間別でみると、1年未満（59.3%）・1～5年（58.4%）・5～10年（60.4%）・10～30年（64.5%）・30年以上（59.7%）すべてにおいて「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高くなっている。

【始良市の「住みやすさ」（属性別）】

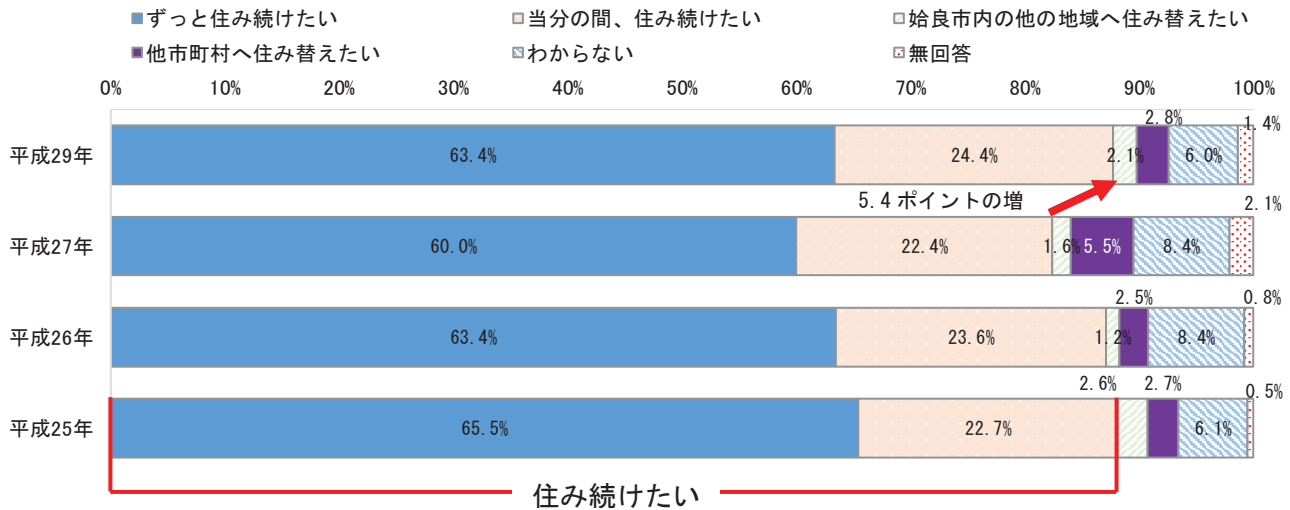


問6 あなたは、今後も始良市に住み続けたいと思いますか。(〇印は1つ)

始良市に住み続けたいかについて、「ずっと住み続けたい」(63.4%)が最も多く、次いで、「当分の間、住み続けたい」(24.4%)、「わからない」(6.0%)の順になっている。

前回調査と比較すると「住み続けたい(ずっと住み続けたい+当分の間住み続けたい)」とする割合が5.4ポイント増加している。

【今後も始良市に住み続けたいか】



【今後も始良市に住み続けたいか(属性別)】

属性		サンプル数	ずっと住み続けたい	当分の間、住み続けたい	始良市内の他の地域へ住み替えたい	他市町村へ住み替えたい	わからない	無回答
全体		1313	832 63.4%	320 24.4%	27 2.1%	37 2.8%	79 6.0%	18 1.4%
性別	男性	554	355 64.1%	145 26.2%	13 2.3%	12 2.2%	22 4.0%	7 1.3%
	女性	712	449 63.1%	164 23.0%	14 2.0%	24 3.4%	55 7.7%	6 0.8%
年代別	18～19歳	11	0 0.0%	5 45.5%	1 9.1%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%
	20～29歳	70	32 45.7%	25 35.7%	0 0.0%	4 5.7%	8 11.4%	1 1.4%
	30～39歳	132	60 45.5%	48 36.4%	3 2.3%	6 4.5%	15 11.4%	0 0.0%
	40～49歳	175	91 52.0%	64 36.6%	4 2.3%	5 2.9%	8 4.6%	3 1.7%
	50～59歳	232	142 61.2%	65 28.0%	4 1.7%	6 2.6%	15 6.5%	0 0.0%
	60～69歳	331	239 72.2%	55 16.6%	6 1.8%	10 3.0%	16 4.8%	5 1.5%
	70～79歳	239	176 73.6%	40 16.7%	6 2.5%	4 1.7%	10 4.2%	3 1.3%
	80歳以上	101	84 83.2%	11 10.9%	2 2.0%	0 0.0%	3 3.0%	1 1.0%
居住地別	蒲生地区	116	81 69.8%	22 19.0%	5 4.3%	4 3.4%	4 3.4%	0 0.0%
	始良地区	810	509 62.8%	207 25.6%	16 2.0%	21 2.6%	50 6.2%	7 0.9%
	加治木地区	356	231 64.9%	83 23.3%	5 1.4%	12 3.4%	21 5.9%	4 1.1%
居住年別	1年未満	27	8 29.6%	12 44.4%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%	1 3.7%
	1～5年	101	41 40.6%	44 43.6%	3 3.0%	9 8.9%	4 4.0%	0 0.0%
	5～10年	101	56 55.4%	36 35.6%	3 3.0%	2 2.0%	4 4.0%	0 0.0%
	10～30年	490	288 58.8%	145 29.6%	11 2.2%	15 3.1%	30 6.1%	1 0.2%
	30年以上	578	436 75.4%	83 14.4%	9 1.6%	10 1.7%	35 6.1%	5 0.9%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

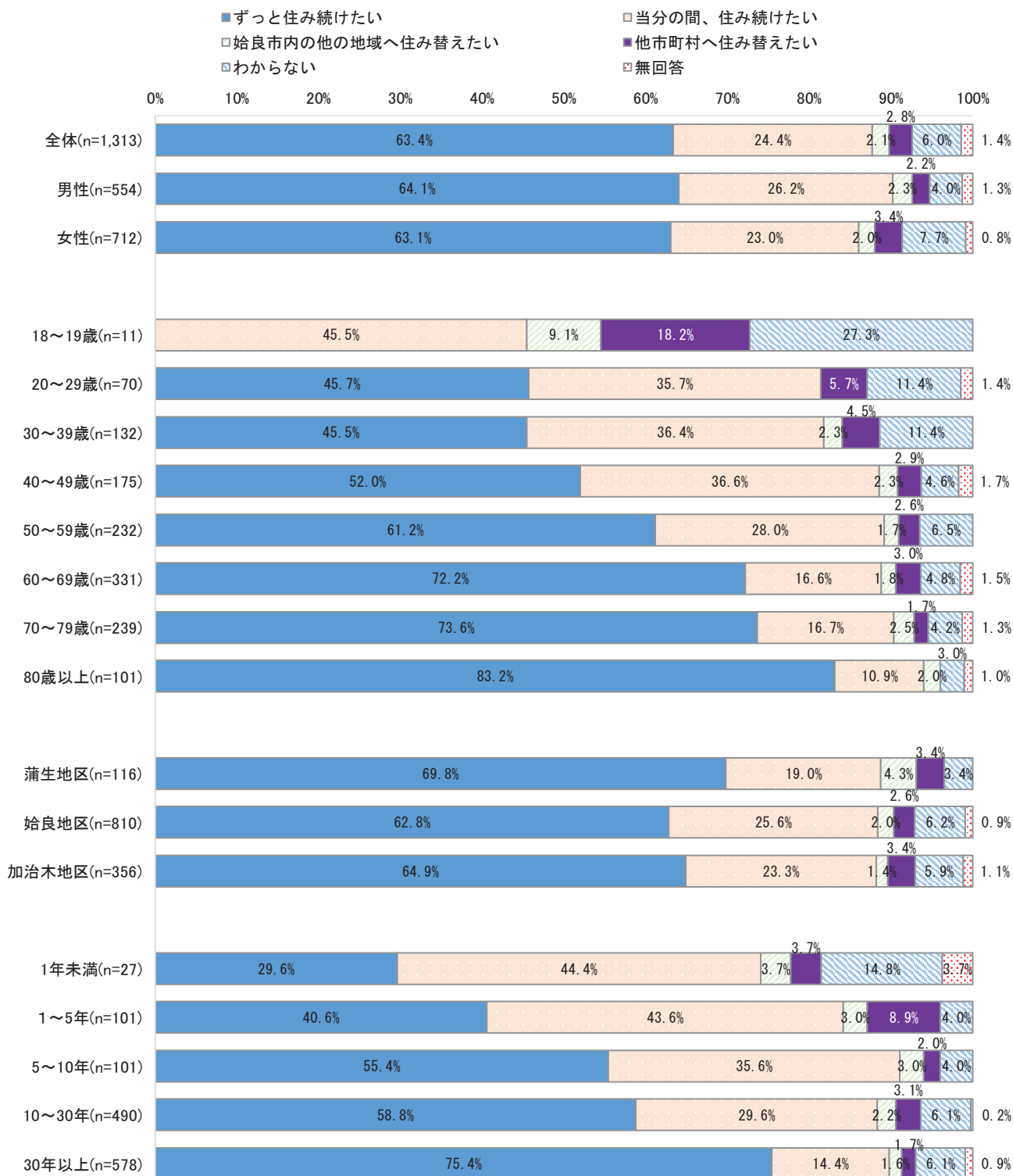
性別でみると、男性（64.1）・女性（63.1）ともに「ずっと住みたい」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、18～19歳（45.5）は「当分の間、住みたい」、20～29歳（45.7）・30～39歳（45.5）・40～49歳（52.0）・50～59歳（61.2）・60～69歳（72.2）・70～79歳（73.6）・80歳以上（83.2）は「ずっと住みたい」の割合が最も高くなっている。

地区別でみると、について、蒲生地区（69.8）・始良地区（62.8）・加治木地区（64.9）すべてにおいて「ずっと住みたい」の割合が最も高くなっている。

居住期間別でみると、1年未満（44.4）・1～5年（43.6）は「当分の間、住みたい」、5～10年（55.4）・10～30年（58.8）・30年以上（75.4）は「ずっと住みたい」の割合が最も高くなっている。

【今後も始良市に住みたいか（属性別）】



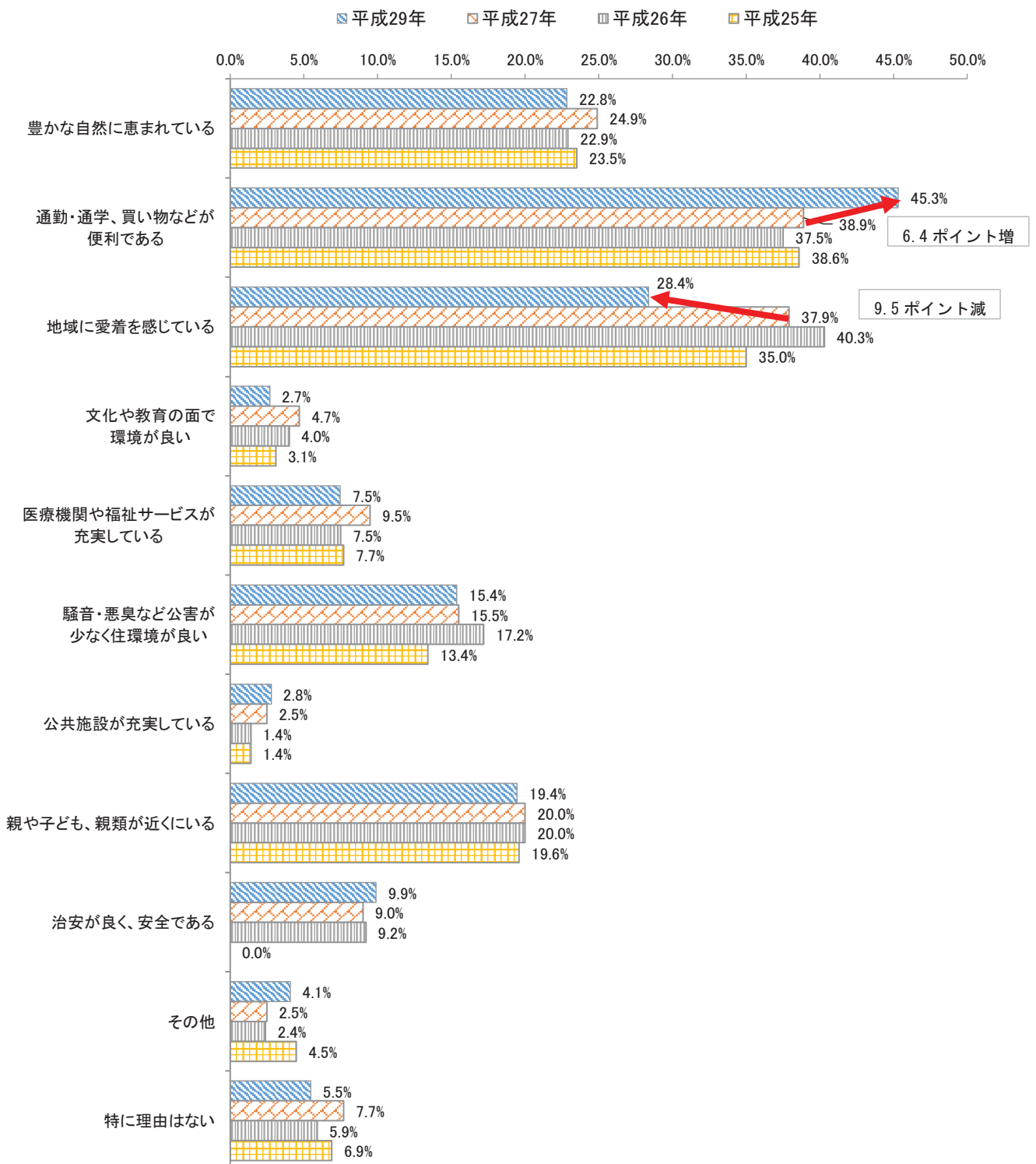
【問6で、「1 ずっと住みたい」「2 当分の間、住みたい」とお答えの方のみにお聞きします。】

問6-1 住みたい主な理由は何ですか。(○印は2つまで)

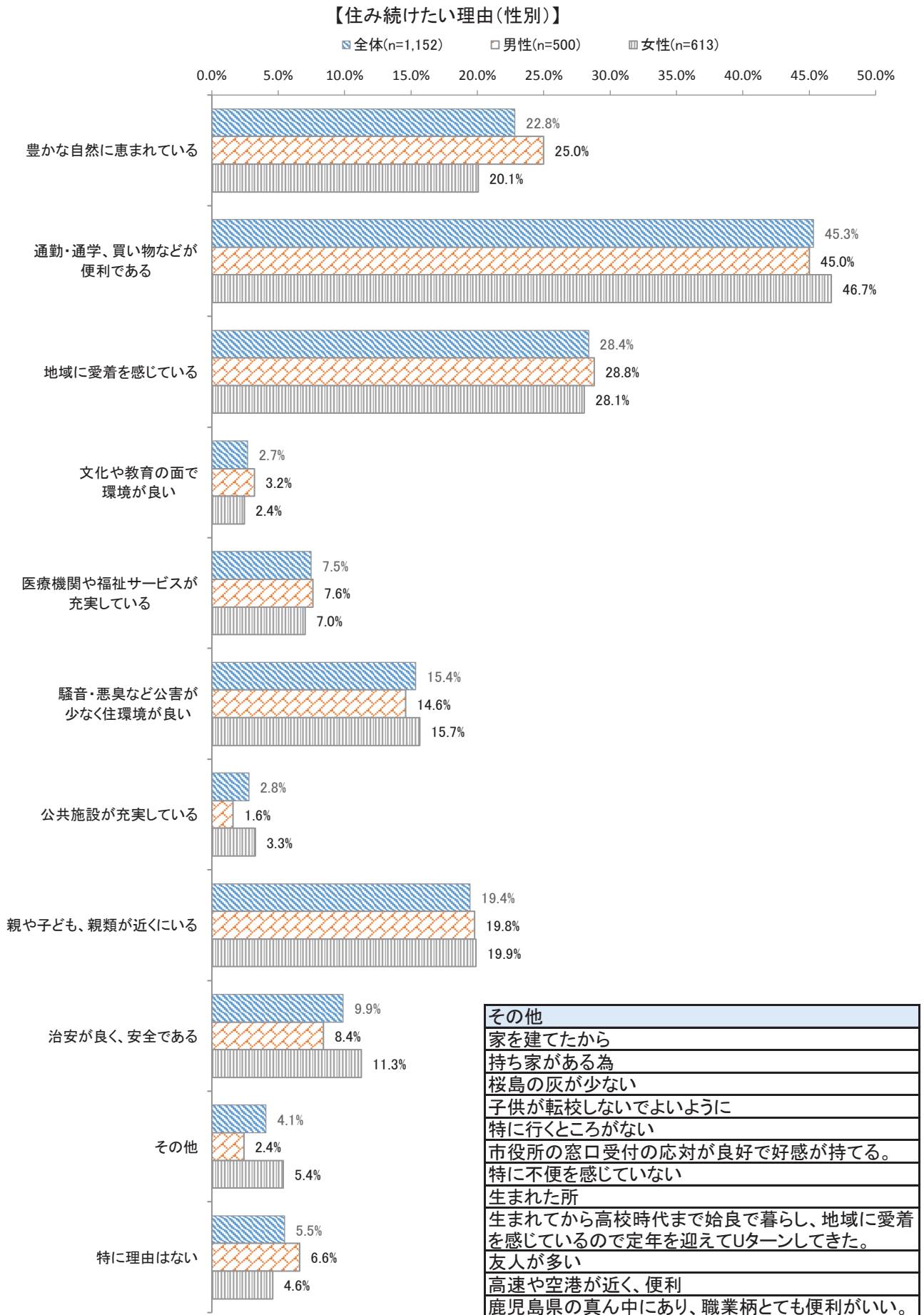
住みたい主な理由について、「通勤・通学、買い物などが便利である」(45.3%)が最も多く、次いで「地域に愛着を感じている」(28.4%)、「豊かな自然に恵まれている」(22.8%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「通勤・通学、買い物などが便利である」は6.4ポイント増加しているものの、「地域に愛着を感じている」は9.5ポイント減少している。他の項目では大きな変化はみられなかった。

【住みたい理由(経年比較)】

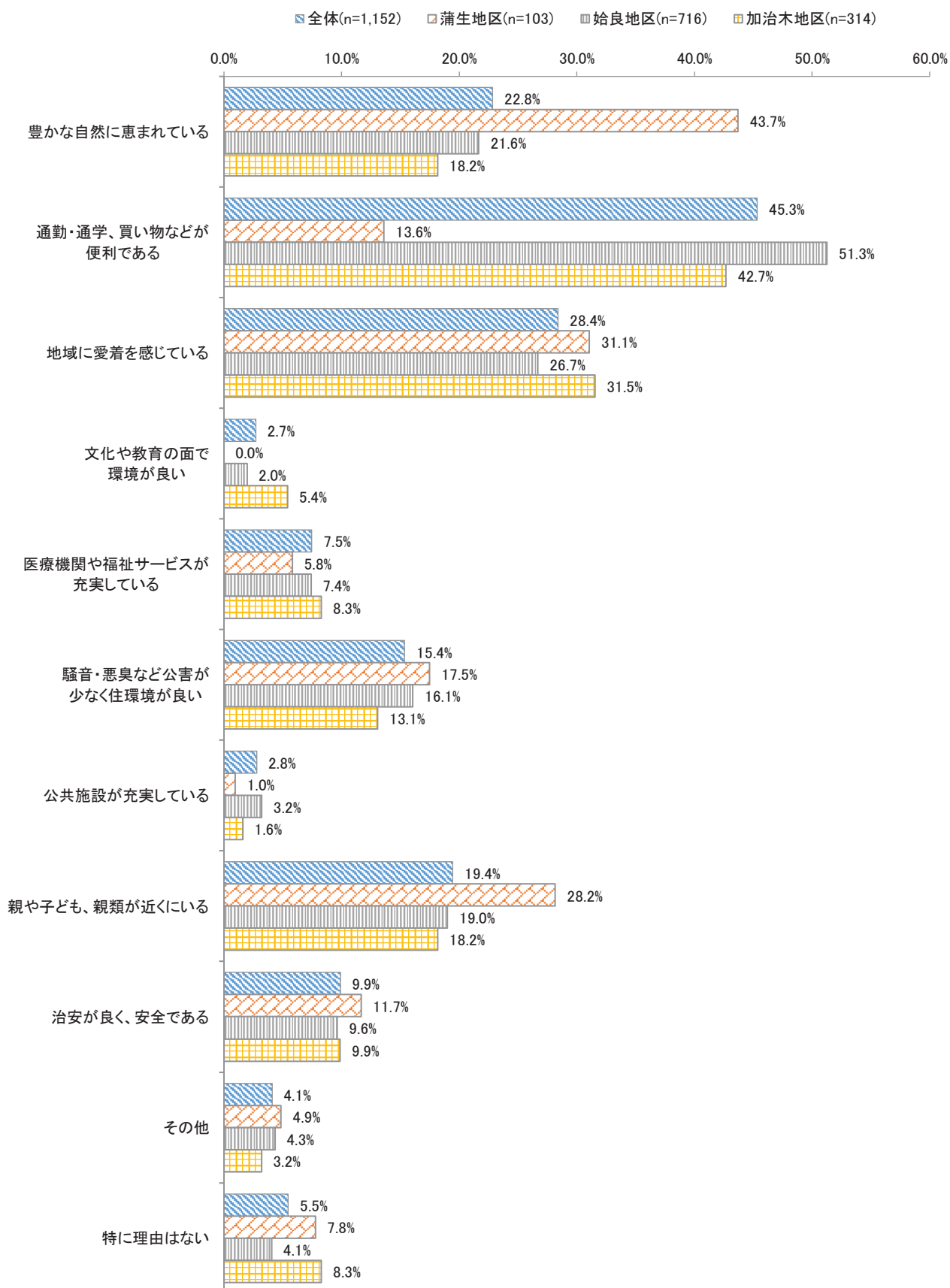


性別でみると、男性（45.0%）・女性（46.7%）ともに「通勤・通学、買い物などが便利である」の割合が最も高くなっている。



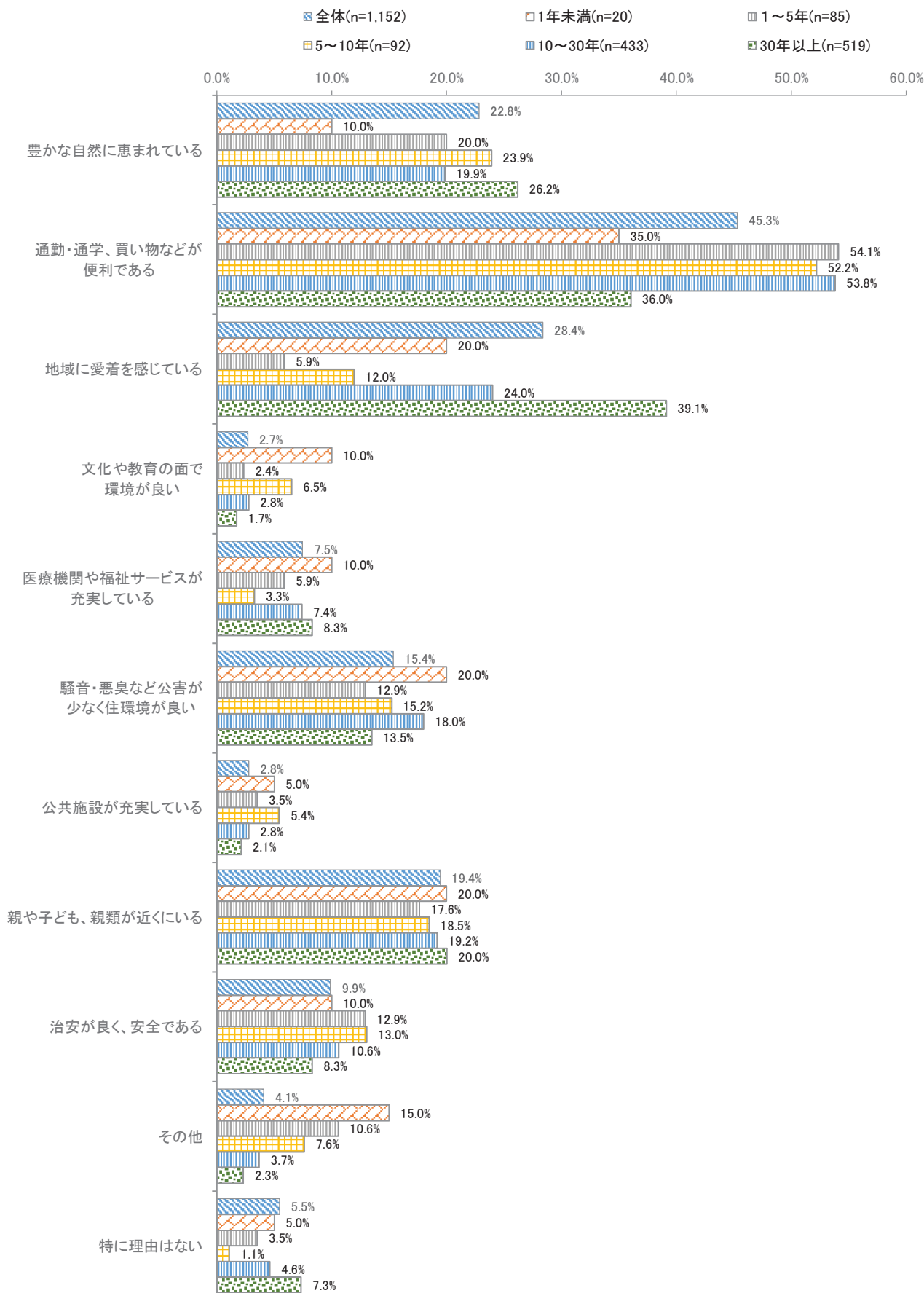
地区別でみると、蒲生地区（43.7%）は「豊かな自然に恵まれている」、始良地区（51.3%）・加治木地区（42.7%）は「通勤・通学、買い物などが便利である」の割合が最も高くなっている。蒲生地区においては、「親や子ども、親類が近くにいる」（28.2%）が他に比べて約 9 ポイント高くなっている。

【住み続けたい理由(地区別)】



居住期間で見ると、1年未満（35.0%）・1～5年（54.1%）・5～10年（52.2%）・10～30年（53.8%）は「通勤・通学、買い物などが便利である」、30年以上（39.1%）は「地域に愛着を感じている」の割合が最も高くなっている。

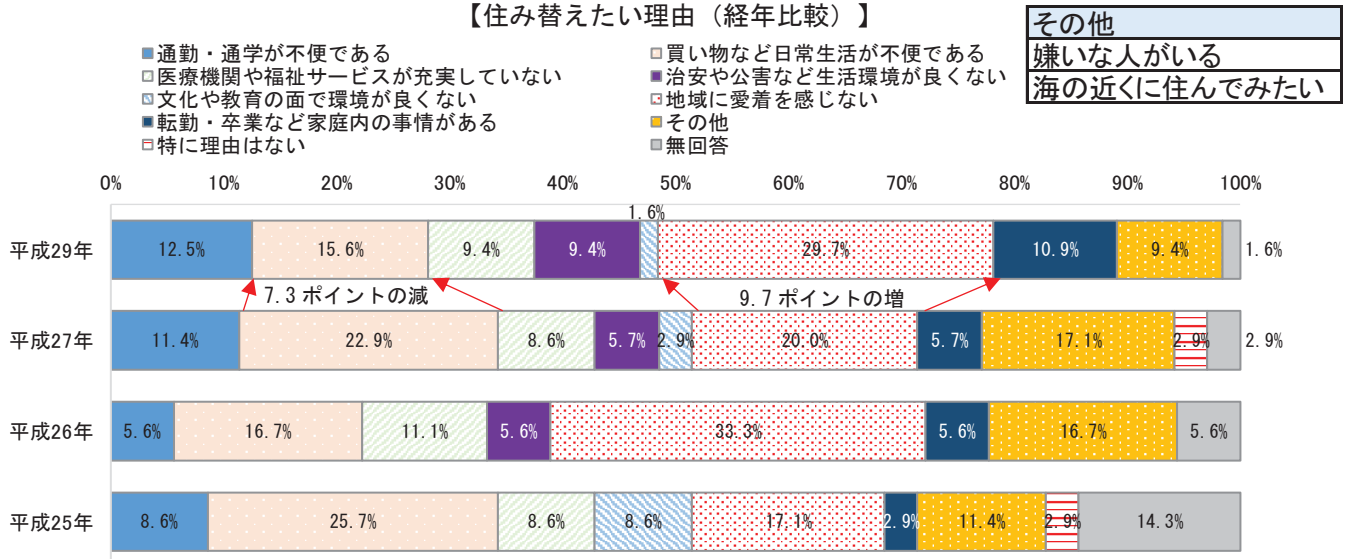
【住み続けたい理由(地区別)】



問 6-2 他へ住み替えたい主な理由は何ですか。(〇印は 1 つ)

住み替えたい主な理由について、「地域に愛着を感じない」(29.7%) が最も多く、次いで「買い物など日常生活が不便である」(15.6%)、「通勤・通学が不便である」(12.5%) の順となっている。前回調査と比較すると、「買い物など日常生活が不便である」7.3 ポイント減少しているものの、「地域に愛着を感じない」は9.7 ポイント増加している。

【住み替えたい理由（経年比較）】



【住み替えたい理由（属性別）】

属性	サンプル数	通勤・通学が不便である	買い物など日常生活が不便である	医療機関や福祉サービスが充実していない	治安や公害など生活環境が良くない	文化や教育の面で環境が良くない	地域に愛着を感じない	転勤・卒業など家庭内の事情がある	その他	特に理由はない	無回答
全体	64	12.5%	15.6%	9.4%	9.4%	1.6%	29.7%	10.9%	9.4%	0.0%	1.6%
性別	男性	25	20.0%	16.0%	4.0%	16.0%	0.0%	24.0%	8.0%	8.0%	4.0%
	女性	38	7.9%	15.8%	13.2%	5.3%	2.6%	34.2%	10.5%	10.5%	0.0%
年代別	18～19歳	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	20～29歳	4	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	9	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	40～49歳	9	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	50～59歳	10	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	16	6.3%	31.3%	6.3%	6.3%	0.0%	25.0%	6.3%	18.8%	0.0%
	70～79歳	10	0.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	80歳以上	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
居住地別	蒲生地区	9	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%
	始良地区	37	8.1%	18.9%	10.8%	13.5%	0.0%	29.7%	8.1%	8.1%	2.7%
	加治木地区	17	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	47.1%	17.6%	5.9%	0.0%
居住年別	1年未満	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	1～5年	12	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	5～10年	5	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	10～30年	26	15.4%	23.1%	11.5%	3.8%	3.8%	23.1%	7.7%	7.7%	3.8%
	30年以上	19	10.5%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%	31.6%	10.5%	15.8%	0.0%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

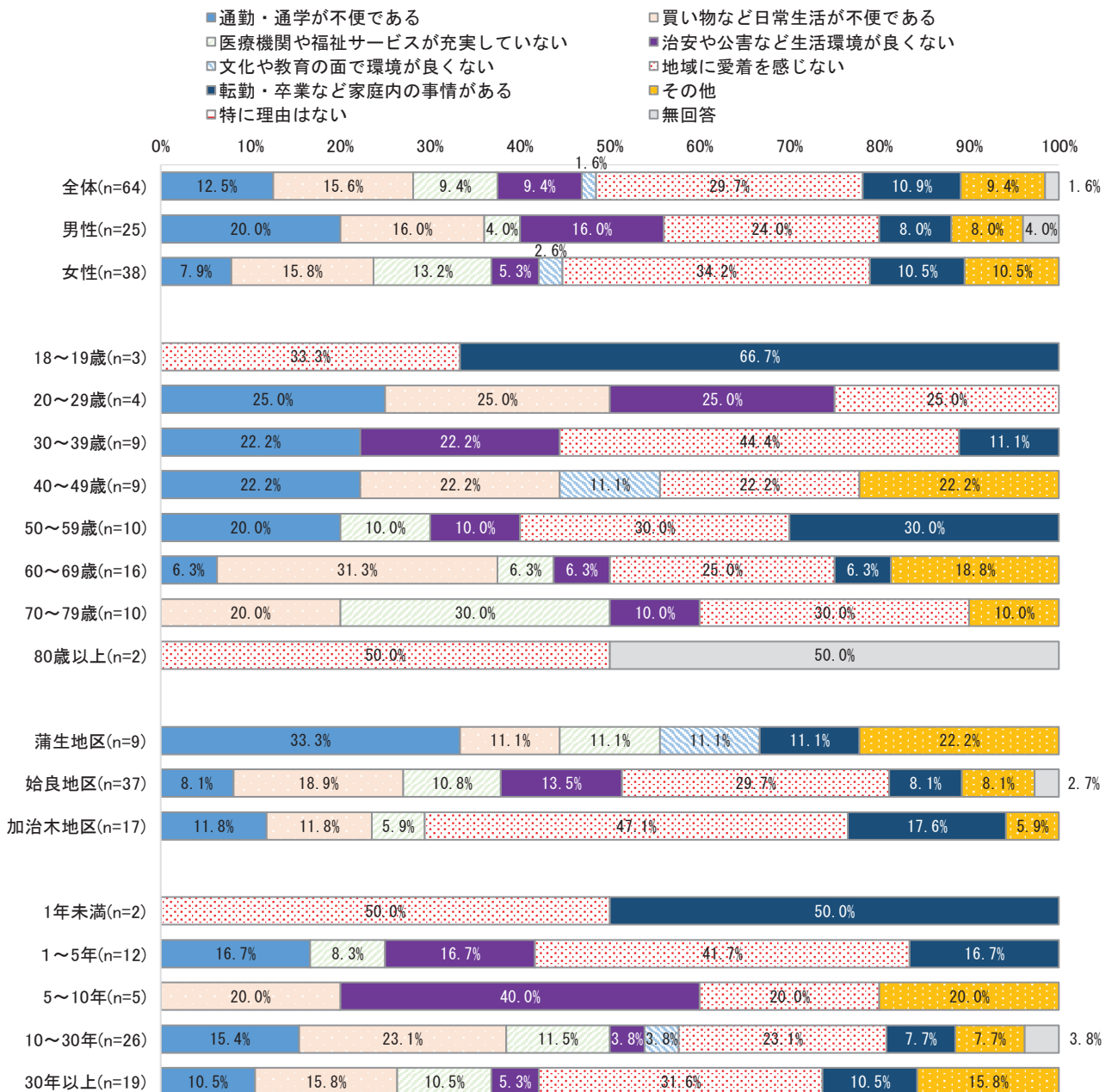
性別でみると、男性（24.0%）・女性（34.2%）ともに「地域に愛着を感じない」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、60～69歳（31.3%）は「買い物など日常生活が不便である」、18～19歳（66.7%）は「通勤・卒業など家庭内の事情がある」、40～49歳（22.2%）は「通勤・通学が不便である」「買い物など日常生活が不便である」「地域に愛着を感じない」「その他」、20～29歳（25.0%）は「通勤・通学が不便である」「買い物など日常生活が不便である」「治安や公害など生活環境が良くない」「地域に愛着を感じない」、50～59歳（30.0%）は「地域に愛着を感じない」「通勤・卒業など家庭内の事情がある」、30～39歳（44.4%）・80歳以上（50.0%）は「地域に愛着を感じない」、70～79歳（30.0%）は「医療機関や福祉サービスが充実していない」「地域に愛着を感じない」の割合が最も高くなっている。

地区別でみると、蒲生地区（33.3%）は「通勤・通学が不便である」、始良地区（29.7%）・加治木地区（47.1%）は「地域に愛着を感じない」の割合が最も高くなっている。

居住期間別でみると、10～30年（23.1%）は「買い物など日常生活が不便である」「地域に愛着を感じない」、1年未満（50.0%）は「地域に愛着を感じない」「通勤・卒業など家庭内の事情がある」、1～5年（41.7%）・30年以上（31.6%）は「地域に愛着を感じない」、5～10年（40.0%）は「治安や公害など生活環境が良くない」の割合が最も高くなっている。

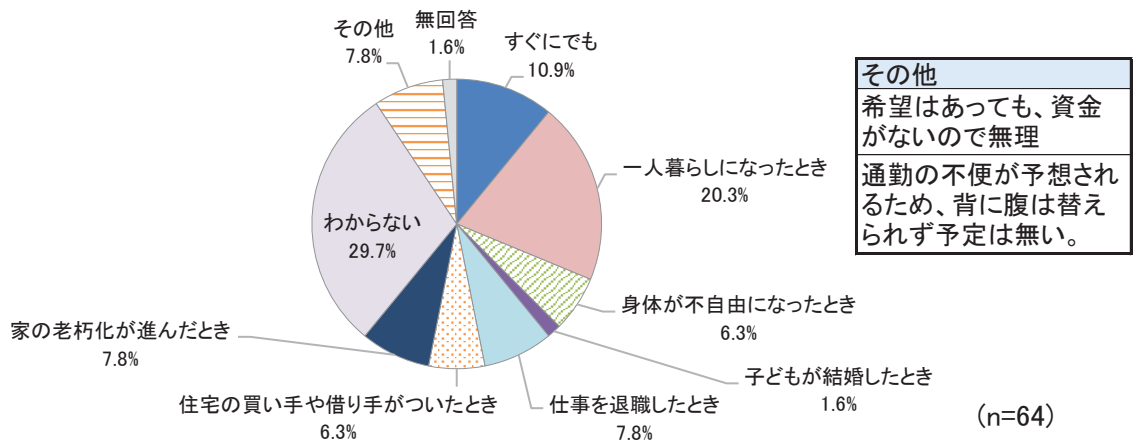
【住み替えたい理由（属性別）】



問6-3 他へ住み替えるとしたら時期はいつですか。(〇印は1つ)

住み替える時期について、「わからない」(29.7%)の割合が最も高く、次いで「一人暮らしになったとき」(20.3%)、「すぐにでも」(10.9%)となっている。

【住み替える時期】



【住み替える時期(属性別)】

属性	サンプル数	すぐにでも	一人暮らしになったとき	身体が不自由になったとき	子どもが結婚したとき	仕事を退職したとき	住宅の買い手や借り手が見つかったとき	家の老朽化が進んだとき	わからない	その他	無回答	
全体	64	7 10.9%	13 20.3%	4 6.3%	1 1.6%	5 7.8%	4 6.3%	5 7.8%	19 29.7%	5 7.8%	1 1.6%	
性別	男性	25	4 16.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	2 8.0%	1 4.0%	3 12.0%	6 24.0%	3 12.0%	1 4.0%
	女性	38	3 7.9%	8 21.1%	4 10.5%	0 0.0%	3 7.9%	3 7.9%	2 5.3%	13 34.2%	2 5.3%	0 0.0%
年代別	18~19歳	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20~29歳	4	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	9	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	9	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
	50~59歳	10	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60~69歳	16	1 6.3%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
	70~79歳	10	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%
	80歳以上	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
居住地別	蒲生地区	9	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%
	始良地区	37	2 5.4%	6 16.2%	4 10.8%	1 2.7%	1 2.7%	2 5.4%	5 13.5%	12 32.4%	3 8.1%	1 2.7%
	加治木地区	17	3 17.6%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%	3 17.6%	1 5.9%	0 0.0%
居住年別	1年未満	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	1~5年	12	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	7 58.3%	0 0.0%	0 0.0%
	5~10年	5	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
	10~30年	26	2 7.7%	7 26.9%	3 11.5%	1 3.8%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	4 15.4%	3 11.5%	1 3.8%
	30年以上	19	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	3 15.8%	5 26.3%	1 5.3%	0 0.0%

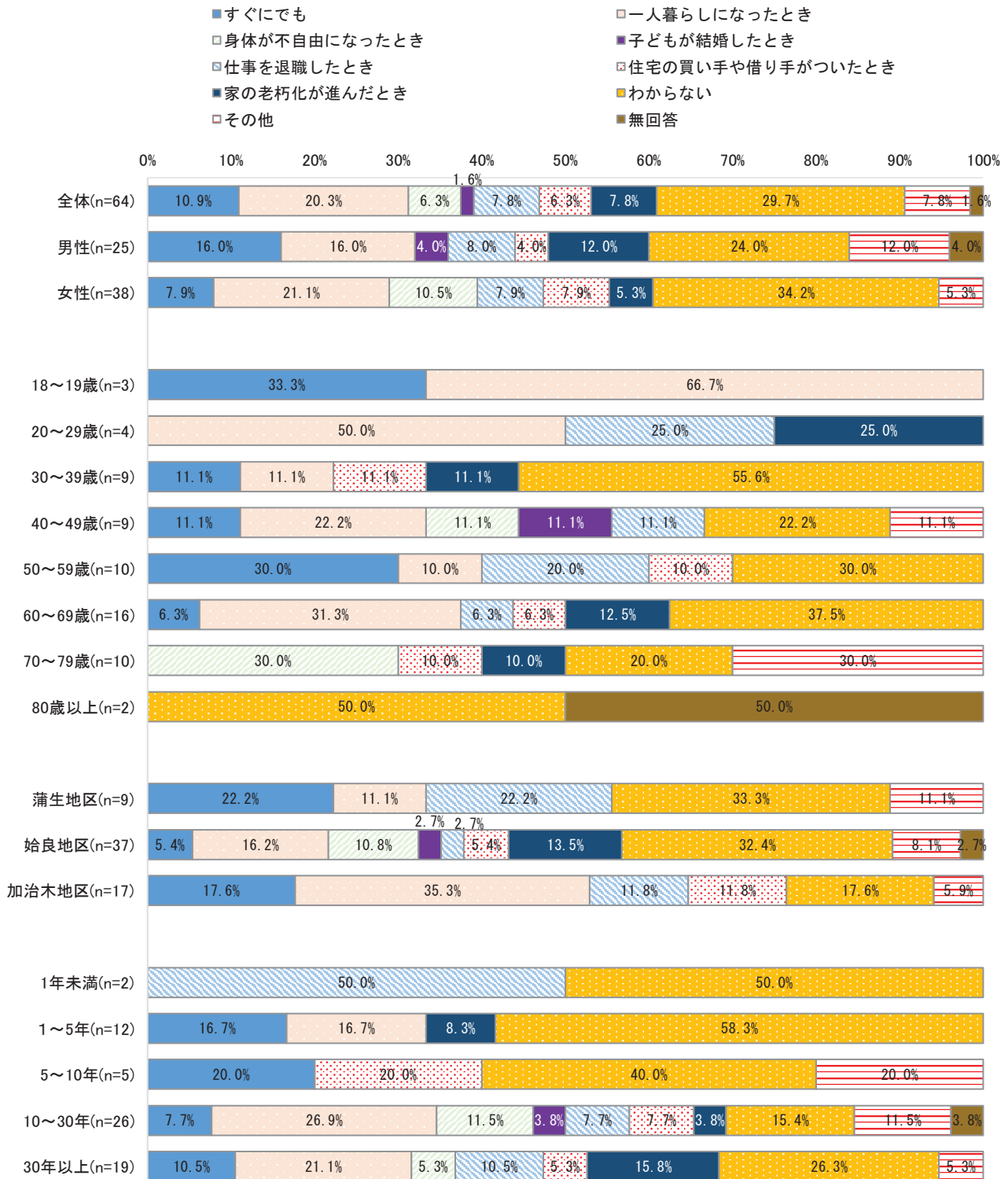
※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

性別でみると、男性（24.0%）・女性（34.2%）ともに「わからない」の割合が最も高くなっている。
 年代別でみると、70～79歳（30.0%）は「身体が不自由になったとき」「その他」、40～49歳（22.2%）は「一人暮らしになったとき」「わからない」、18～19歳（66.7%）・20～29歳（50.0%）は「一人暮らしになったとき」、30～39歳（55.6%）・60～69歳（37.5%）・80歳以上（50.0%）は「わからない」、50～59歳（30.0%）は「すぐにでも」「わからない」の割合が最も高くなっている。

地区別でみると、加治木地区（35.3%）は「一人暮らしになったとき」、蒲生地区（33.3%）・始良地区（32.4%）は「わからない」の割合が最も高くなっている。

居住期間別でみると、1年未満（50.0%）は「仕事を退職したとき」「わからない」、10～30年（26.9%）は「一人暮らしになったとき」、1～5年（58.3%）・5～10年（40.0%）・30年以上（26.3%）は「わからない」の割合が最も高くなっている。

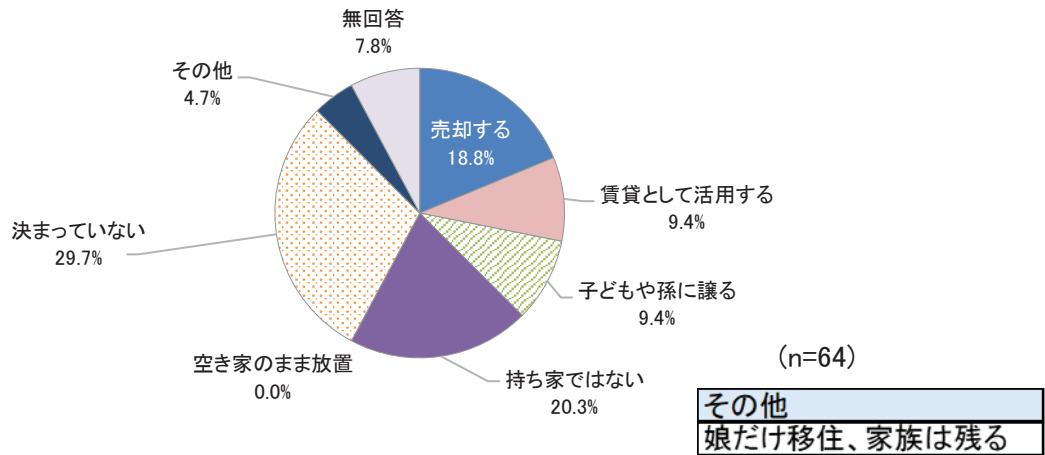
【住み替える時期（属性別）】



問 6-4 住み替え後に予定している現在のお住まいの活用方法は何ですか。(○印は 1 つ)

住み替え後の住まいの活用法について、「決まっていない」(29.7%)の割合が最も高く、次いで「持ち家ではない」(20.3%)、「売却する」(18.8%)となっている。

【住み替え後の現在のお住まいの活用方法】



【住み替え後のお住まいの活用方法 (属性別)】

属性	サンプル数	売却する	賃貸として活用する	子どもや孫に譲る	持ち家ではない	空き家のまま放置	決まっていない	その他	無回答
全体	64	12 18.8%	6 9.4%	6 9.4%	13 20.3%	0 0.0%	19 29.7%	3 4.7%	5 7.8%
性別	男性	4 16.0%	2 8.0%	2 8.0%	4 16.0%	0 0.0%	9 36.0%	1 4.0%	3 12.0%
	女性	8 21.1%	4 10.5%	4 10.5%	9 23.7%	0 0.0%	9 23.7%	2 5.3%	2 5.3%
年代別	18~19歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
	20~29歳	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	6 66.7%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
	50~59歳	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%
	60~69歳	6 37.5%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	6 37.5%	1 6.3%	1 6.3%
	70~79歳	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%
	80歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
居住地別	蒲生地区	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
	始良地区	10 27.0%	4 10.8%	5 13.5%	4 10.8%	0 0.0%	9 24.3%	1 2.7%	4 10.8%
	加治木地区	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	6 35.3%	0 0.0%	8 47.1%	1 5.9%	1 5.9%
居住年別	1年未満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	1~5年	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	9 75.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	5~10年	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%
	10~30年	6 23.1%	4 15.4%	4 15.4%	1 3.8%	0 0.0%	7 26.9%	1 3.8%	3 11.5%
	30年以上	5 26.3%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	8 42.1%	1 5.3%	1 5.3%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

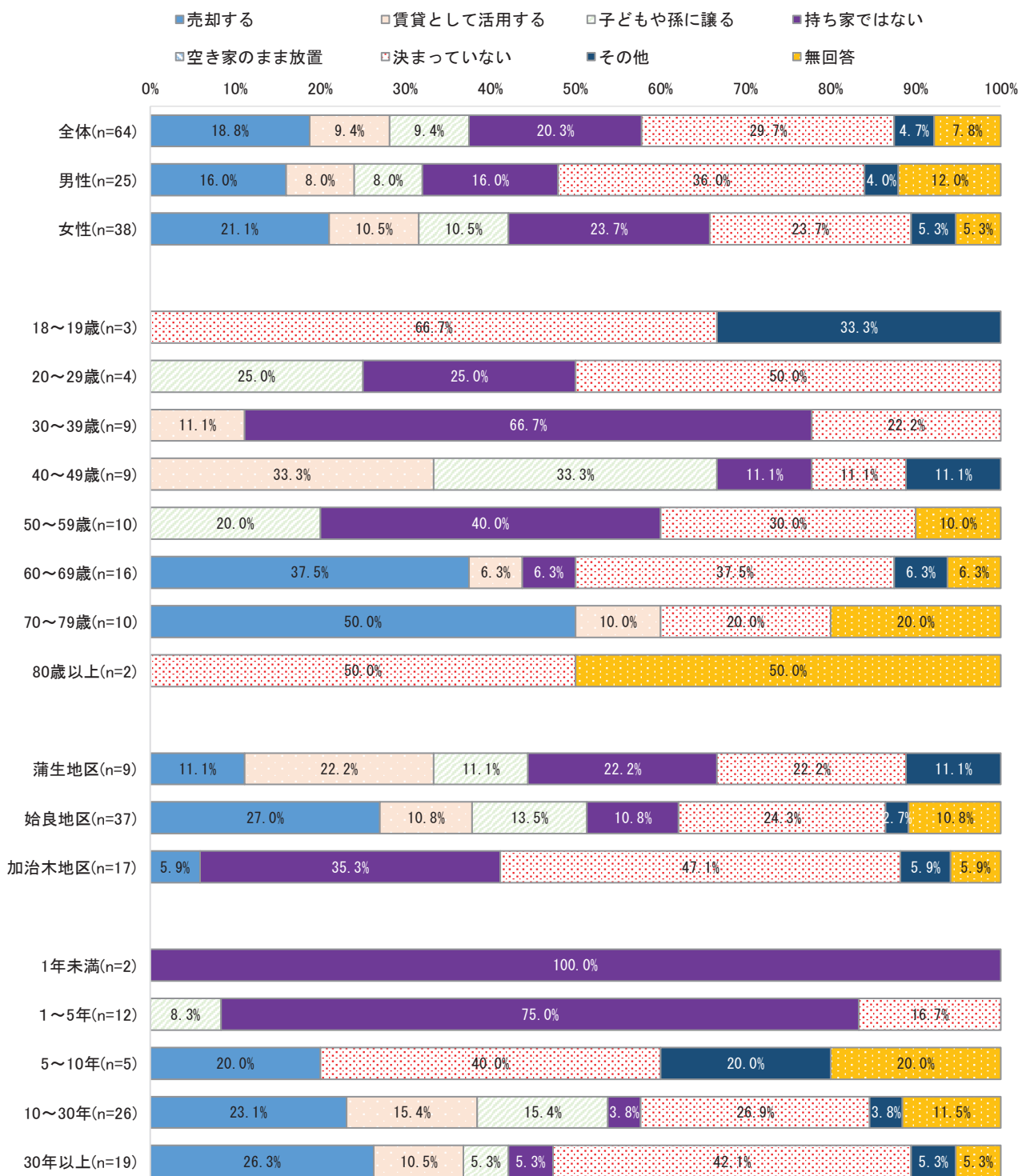
性別でみると、男性（36.0%）は「決まっていない」、女性（23.7%）は「持ち家ではない」「決まっていない」の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、60～69歳（37.5%）は「売却する」「決まっていない」、70～79歳（50.0%）は「売却する」、40～49歳（33.3%）は「賃貸として活用する」「子どもや孫に譲る」、30～39歳（66.7%）・50～59歳（40.0%）は「持ち家ではない」、18～19歳（66.7%）・20～29歳（50.0%）・80歳以上（50.0%）は「決まっていない」の割合が最も高くなっている。

地区別でみると、始良地区（27.0%）は「売却する」、蒲生地区（22.2%）は「賃貸として活用する」「持ち家ではない」「決まっていない」、加治木地区（47.1%）は「決まっていない」の割合が最も高くなっている。

居住期間別でみると、1年未満（100.0%）・1～5年（75.0%）は「持ち家ではない」、5～10年（40.0%）・10～30年（26.9%）・30年以上（42.1%）は「決まっていない」の割合が最も高くなっている。

【住み替え後の住まいの活用方法（属性別）】



問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○印は3つまで)

心配や困りごとについて、「自分の病気や老後のこと」(46.0%)の割合が最も高く、次いで「家族の健康や生活上のこと」(35.4%)、「バスなどの交通手段が不便なこと」(14.9%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「家族の健康や生活上のこと」が4.8ポイント、「自分の病気や老後のこと」が4.3ポイント増加している。一方、「心配ごとや困っていることはない」は4.8ポイント減少している。

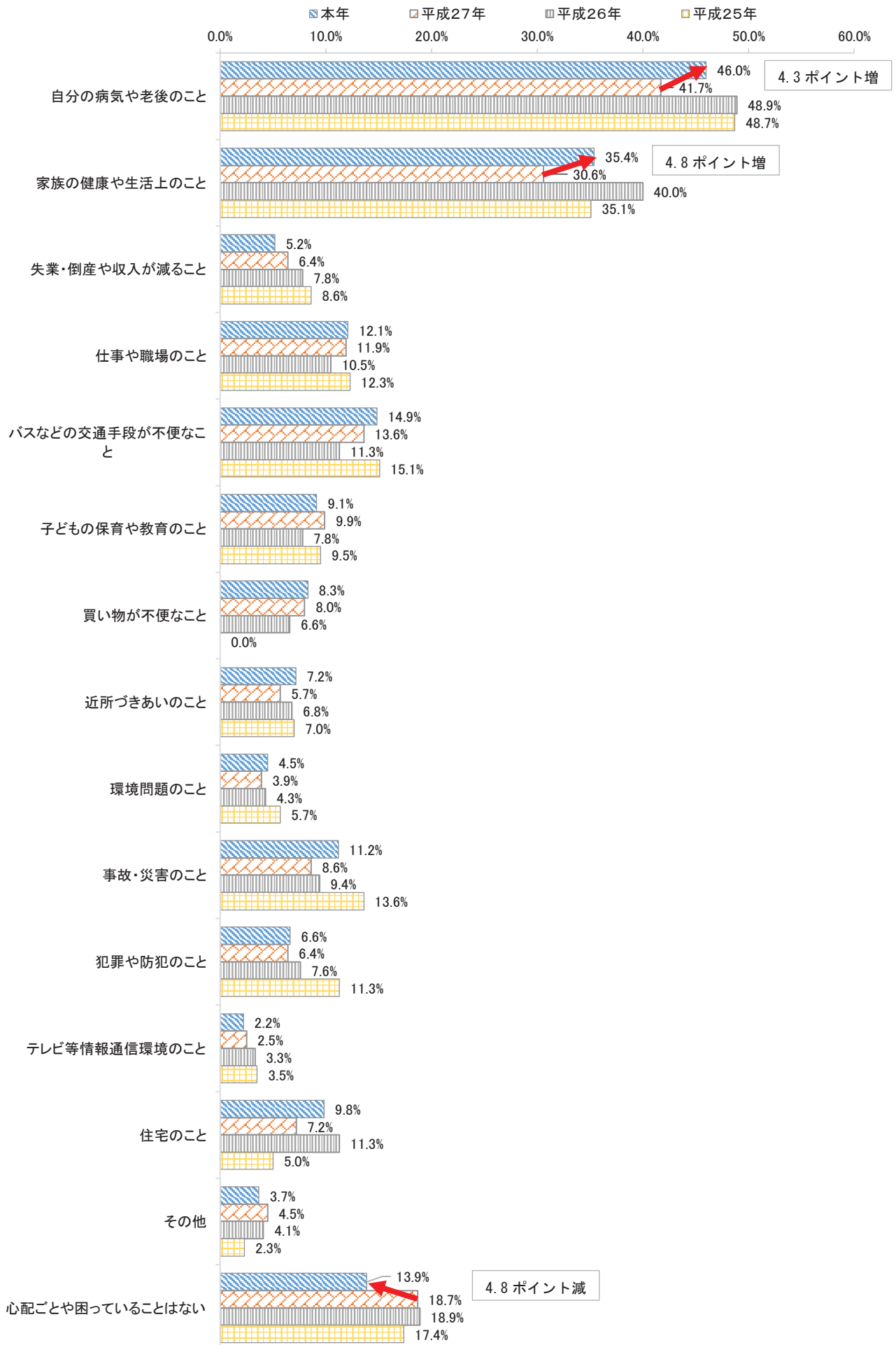
【困っていること(経年比較)】

	本年	平成27年	平成26年	平成25年
自分の病気や老後のこと	46.0%	41.7%	48.9%	48.7%
家族の健康や生活上のこと	35.4%	30.6%	40.0%	35.1%
失業・倒産や収入が減ること	5.2%	6.4%	7.8%	8.6%
仕事や職場のこと	12.1%	11.9%	10.5%	12.3%
バスなどの交通手段が不便なこと	14.9%	13.6%	11.3%	15.1%
子どもの保育や教育のこと	9.1%	9.9%	7.8%	9.5%
買い物が不便なこと	8.3%	8.0%	6.6%	※項目なし
近所づきあいのこと	7.2%	5.7%	6.8%	7.0%
環境問題のこと	4.5%	3.9%	4.3%	5.7%
事故・災害のこと	11.2%	8.6%	9.4%	13.6%
犯罪や防犯のこと	6.6%	6.4%	7.6%	11.3%
テレビ等情報通信環境のこと	2.2%	2.5%	3.3%	3.5%
住宅のこと	9.8%	7.2%	11.3%	5.0%
その他	3.7%	4.5%	4.1%	2.3%
心配ごとや困っていることはない	13.9%	18.7%	18.9%	17.4%

※ 0.0% 属性の中で上位3位のもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

その他	
障害者のこと	雇用(子供のUターン)
老人の世話をしているので不安	出会いが無い
北朝鮮のミサイル	猫のフンに困っている
人口が減っていくこと	歩道が狭く、通学時等心配
空き家の手入れがされていない	
クオレ病院から船津(水道局)に、バイパスとなるトンネル建設を早急に工事してほしい	
今は車に乗れるが、その後、バスに乗るようになったとき、もう少し小回りしてほしい。	
認知症の母親の件で介護度が下がって入居できる所がない。	

【困っていること(経年比較)】



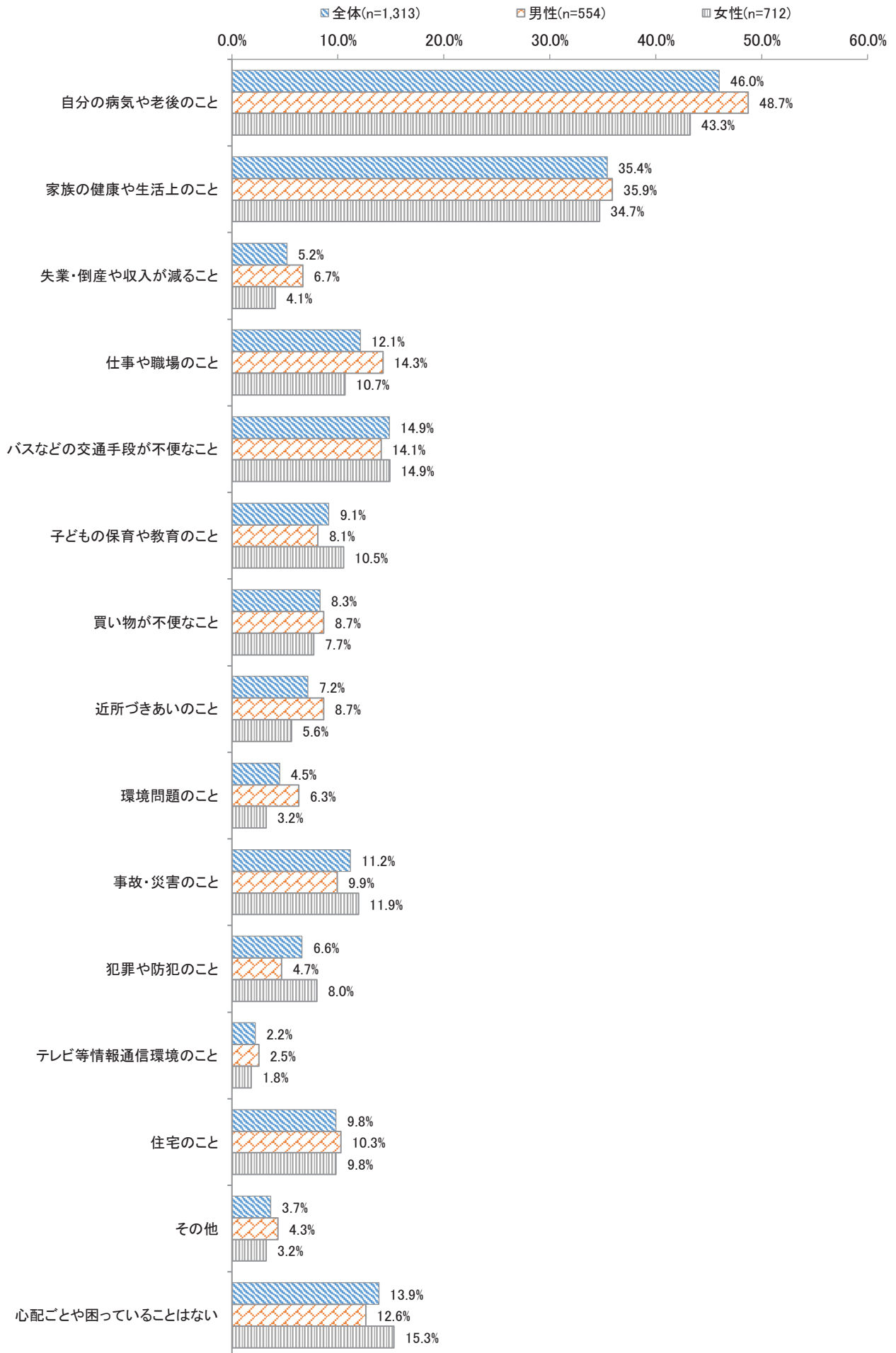
性別でみると、男性（48.7%）・女性（43.3%）ともに「自分の病気や老後のこと」の割合が最も高くなっている。性別における大きな変化は見られなかった。

【困っていること（性別）】

	全体(n=1,313)	男性(n=554)	女性(n=712)
自分の病気や老後のこと	46.0%	48.7%	43.3%
家族の健康や生活上のこと	35.4%	35.9%	34.7%
失業・倒産や収入が減ること	5.2%	6.7%	4.1%
仕事や職場のこと	12.1%	14.3%	10.7%
バスなどの交通手段が不便なこと	14.9%	14.1%	14.9%
子どもの保育や教育のこと	9.1%	8.1%	10.5%
買い物が不便なこと	8.3%	8.7%	7.7%
近所づきあいのこと	7.2%	8.7%	5.6%
環境問題のこと	4.5%	6.3%	3.2%
事故・災害のこと	11.2%	9.9%	11.9%
犯罪や防犯のこと	6.6%	4.7%	8.0%
テレビ等情報通信環境のこと	2.2%	2.5%	1.8%
住宅のこと	9.8%	10.3%	9.8%
その他	3.7%	4.3%	3.2%
心配ごとや困っていることはない	13.9%	12.6%	15.3%

※ 0.0% 属性の中で上位3位のもの（灰色塗りつぶし、白抜き文字）

【困っていること(性別)】



年代別でみると、18～19歳（36.4%）は「心配ごとや困っていることはない」、60～69歳（56.2%）・70～79歳（60.7%）・80歳以上（61.4%）は「自分の病気や老後のこと」、20～29歳（47.1%）は「仕事や職場のこと」、30～39歳（32.6%）・40～49歳（32.0%）・50～59歳（44.4%）は「家族の健康や生活上のこと」の割合が最も高くなっている。

また、18～19歳（18.2%）、20～29歳（47.1%）では、「仕事や職場のこと」、30～39歳（31.1%）、40～49歳（28.0%）では、「子どもの保育や教育のこと」、18～19歳（27.3%）、70～79歳（17.6%）、80歳以上（27.7%）では「バスなどの交通手段が不便なこと」の割合も高くなっており、年代の特徴が出た結果となっている。

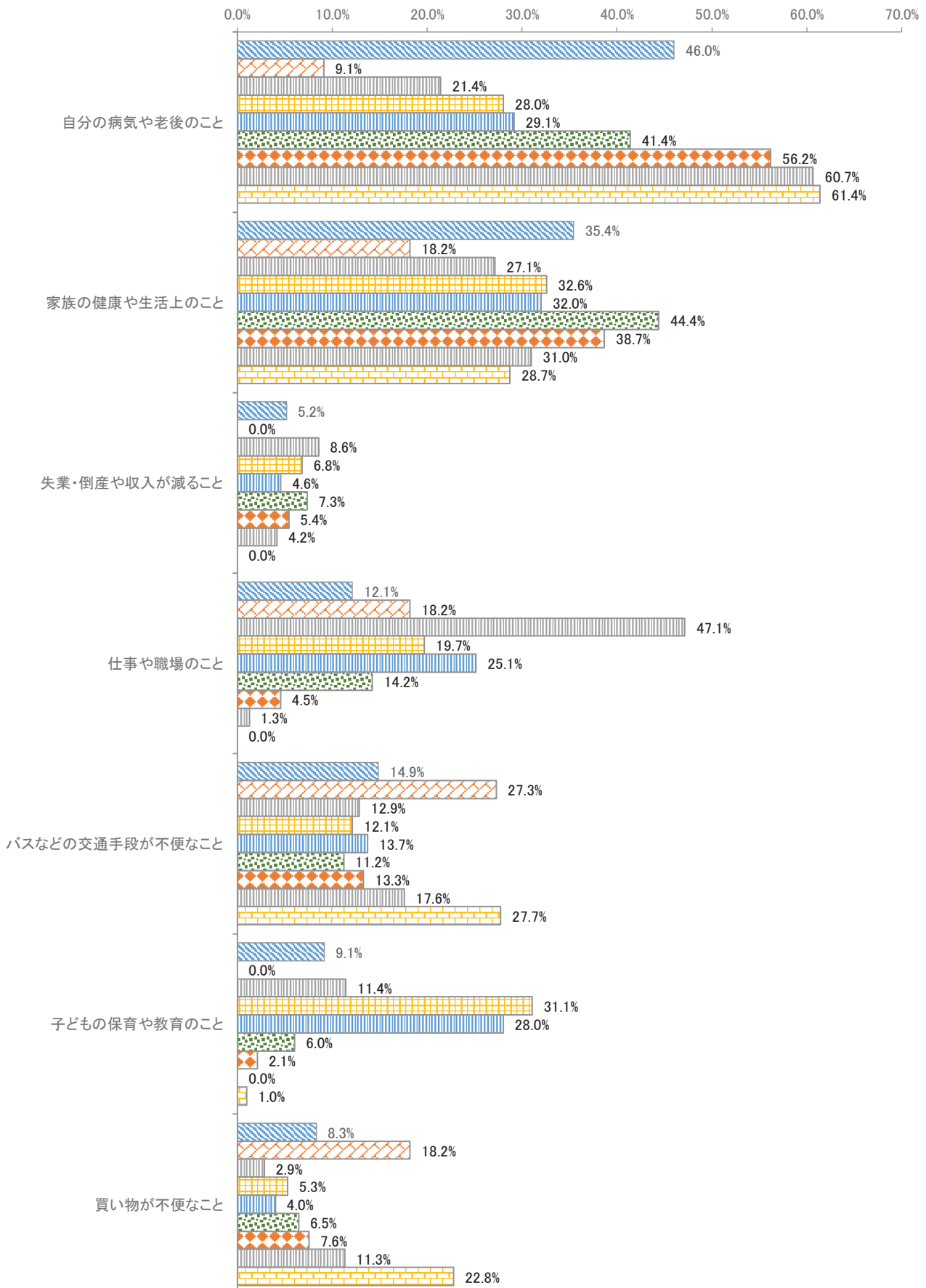
【困っていること（年代）】

	全体	18 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上
サンプル数	1313	11	70	132	175	232	331	239	101
自分の病気や老後のこと	46.0%	9.1%	21.4%	28.0%	29.1%	41.4%	56.2%	60.7%	61.4%
家族の健康や生活上のこと	35.4%	18.2%	27.1%	32.6%	32.0%	44.4%	38.7%	31.0%	28.7%
失業・倒産や収入が減ること	5.2%	0.0%	8.6%	6.8%	4.6%	7.3%	5.4%	4.2%	0.0%
仕事や職場のこと	12.1%	18.2%	47.1%	19.7%	25.1%	14.2%	4.5%	1.3%	0.0%
バスなどの交通手段が不便なこと	14.9%	27.3%	12.9%	12.1%	13.7%	11.2%	13.3%	17.6%	27.7%
子どもの保育や教育のこと	9.1%	0.0%	11.4%	31.1%	28.0%	6.0%	2.1%	0.0%	1.0%
買い物が不便なこと	8.3%	18.2%	2.9%	5.3%	4.0%	6.5%	7.6%	11.3%	22.8%
近所づきあいのこと	7.2%	9.1%	1.4%	4.5%	10.3%	6.5%	7.6%	9.6%	4.0%
環境問題のこと	4.5%	0.0%	1.4%	4.5%	3.4%	3.0%	6.3%	5.4%	4.0%
事故・災害のこと	11.2%	9.1%	12.9%	10.6%	10.3%	10.3%	11.5%	14.2%	7.9%
犯罪や防犯のこと	6.6%	9.1%	7.1%	11.4%	9.7%	5.2%	4.8%	6.7%	4.0%
テレビ等情報通信環境のこと	2.2%	0.0%	5.7%	1.5%	1.1%	3.0%	1.5%	3.3%	1.0%
住宅のこと	9.8%	9.1%	2.9%	13.6%	11.4%	12.1%	10.9%	7.5%	5.0%
その他	3.7%	9.1%	1.4%	3.0%	3.4%	4.7%	4.8%	2.9%	1.0%
心配ごとや困っていることはない	13.9%	36.4%	15.7%	12.1%	16.6%	15.5%	13.6%	10.9%	12.9%

※ 0.0% 属性の中で上位3位のもの（灰色塗りつぶし、白抜き文字）

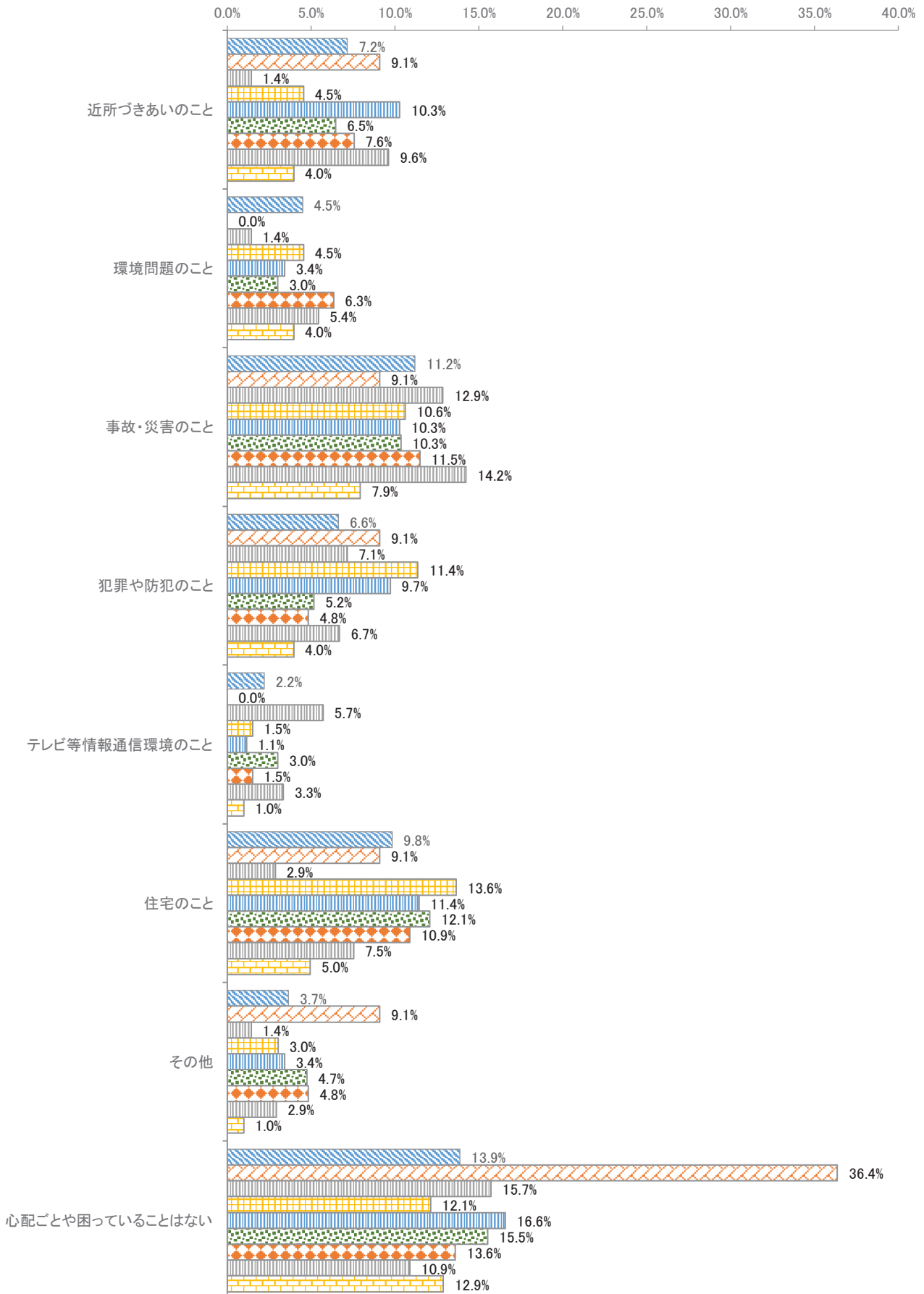
【困っていること(年代別)①】

■ 全体(n=1,313)
 ■ 18～19歳(n=11)
 ■ 20～29歳(n=70)
 ■ 30～39歳(n=132)
 ■ 40～49歳(n=175)
 ■ 50～59歳(n=232)
 ■ 60～69歳(n=331)
 ■ 70～79歳(n=239)
 ■ 80歳以上(n=101)



【困っていること(年代)②】

■ 全体(n=1,313) ■ 18～19歳(n=11) ■ 20～29歳(n=70) ■ 30～39歳(n=132) ■ 40～49歳(n=175)
 ■ 50～59歳(n=232) ■ 60～69歳(n=331) ■ 70～79歳(n=239) ■ 80歳以上(n=101)



地区別で見ると、蒲生地区（42.2%）・始良地区（45.2%）・加治木地区（48.9%）すべてにおいて「自分の病気や老後のこと」の割合が最も高くなっている。

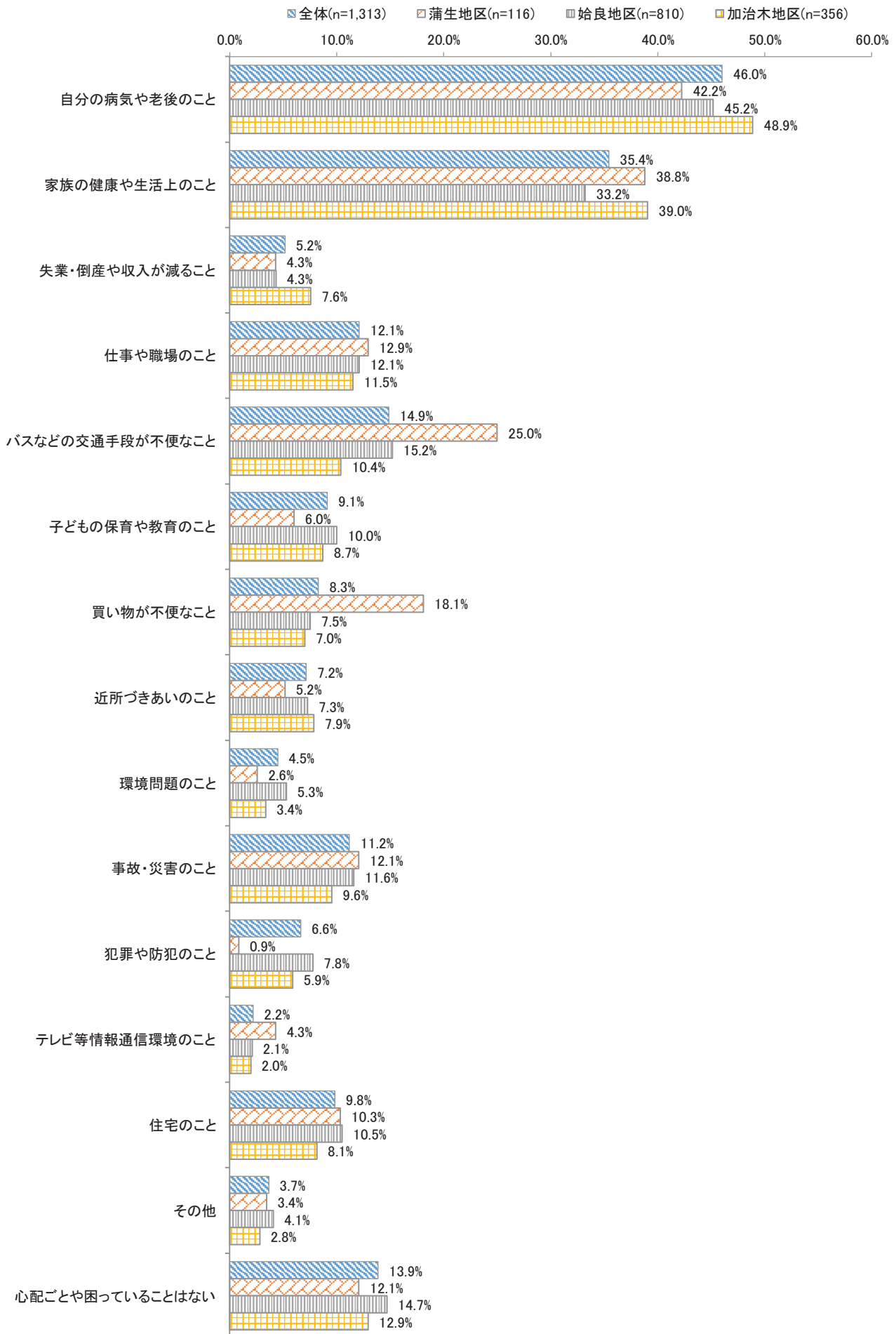
なお、蒲生地区では「バスなどの交通手段が不便なこと」「買い物が不便なこと」の割合が、他の地区に比べて高くなっている。

【困っていること（地区別）】

	全体	蒲生地区	始良地区	加治木地区
サンプル数	1313	116	810	356
自分の病気や老後のこと	46.0%	42.2%	45.2%	48.9%
家族の健康や生活上のこと	35.4%	38.8%	33.2%	39.0%
失業・倒産や収入が減ること	5.2%	4.3%	4.3%	7.6%
仕事や職場のこと	12.1%	12.9%	12.1%	11.5%
バスなどの交通手段が不便なこと	14.9%	25.0%	15.2%	10.4%
子どもの保育や教育のこと	9.1%	6.0%	10.0%	8.7%
買い物が不便なこと	8.3%	18.1%	7.5%	7.0%
近所づきあいのこと	7.2%	5.2%	7.3%	7.9%
環境問題のこと	4.5%	2.6%	5.3%	3.4%
事故・災害のこと	11.2%	12.1%	11.6%	9.6%
犯罪や防犯のこと	6.6%	0.9%	7.8%	5.9%
テレビ等情報通信環境のこと	2.2%	4.3%	2.1%	2.0%
住宅のこと	9.8%	10.3%	10.5%	8.1%
その他	3.7%	3.4%	4.1%	2.8%
心配ごとや困っていることはない	13.9%	12.1%	14.7%	12.9%

※ 0.0% 属性の中で上位3位のもの（灰色塗りつぶし、白抜き文字）

【困っていること(地区別)】



問8 あなたが日常生活でよく利用している施設は、どの校区（校区コミュニティ）にありますか。（○印は1つ）

日常生活でよく利用している施設について、「小規模店舗」（57.0%）、「スーパー、ドラッグストア等（生鮮食料品を購入するところ）」（52.2%）、「公民館・集会所」（54.9%）では「住んでいる校区」が5割以上を占め、「病院・診療所」（43.7%）では「校区外（始良市内）」の割合が高くなっている。

- 1.小規模店舗 2.スーパー、ドラッグストア等（生鮮食料品を購入するところ） 3.幼稚園・保育園・託児所
4.小学校・中学校 5.高等学校 6.病院・診療所 7.福祉施設（高齢者施設、障害者施設等） 8.銀行・郵便局
9.図書館（室） 10.公民館・集会所

住んでいる校区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体(n=1313)	57.0%	52.2%	16.8%	25.7%	6.2%	36.7%	13.3%	47.2%	20.5%	54.9%
蒲生地区(n=102)	62.9%	46.6%	11.2%	18.1%	9.5%	28.4%	15.5%	68.1%	19.8%	63.8%
始良地区(n=764)	54.3%	50.2%	16.9%	26.8%	3.3%	35.4%	11.6%	41.1%	20.5%	51.7%
加治木地区(n=332)	62.6%	59.0%	18.8%	26.4%	11.8%	42.7%	16.9%	54.5%	20.2%	61.8%

校区外(始良市内)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体(n=1313)	26.0%	39.2%	6.4%	2.1%	7.8%	43.7%	10.6%	39.4%	32.4%	8.1%
蒲生地区(n=102)	19.0%	44.0%	5.2%	4.3%	3.4%	47.4%	8.6%	19.0%	19.8%	2.6%
始良地区(n=764)	29.1%	42.0%	7.9%	1.9%	8.6%	45.7%	11.1%	44.7%	37.0%	9.5%
加治木地区(n=332)	21.3%	32.6%	3.9%	2.2%	7.6%	39.9%	9.6%	36.2%	27.5%	6.2%

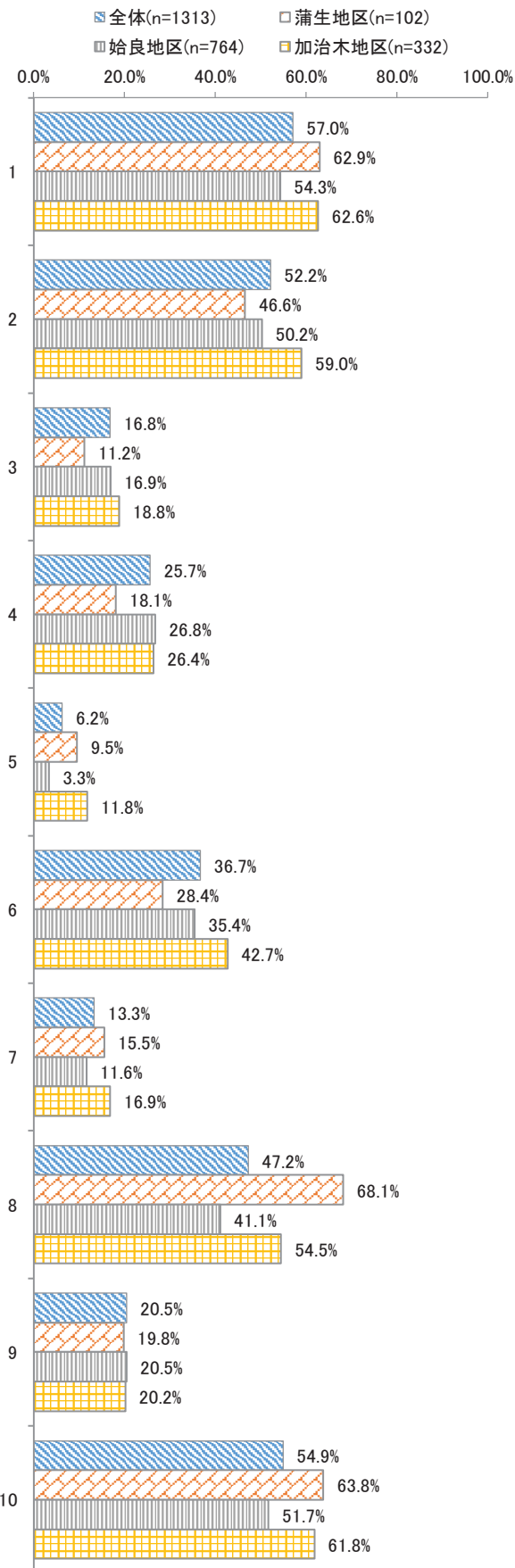
始良市外	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体(n=1313)	3.1%	2.4%	0.2%	0.3%	6.0%	9.9%	1.1%	3.7%	1.5%	0.5%
蒲生地区(n=102)	3.4%	4.3%	0.0%	0.0%	2.6%	12.9%	2.6%	4.3%	0.0%	0.0%
始良地区(n=764)	3.2%	2.0%	0.1%	0.4%	7.4%	9.1%	0.9%	4.1%	1.6%	0.6%
加治木地区(n=332)	2.5%	2.5%	0.3%	0.0%	3.7%	9.8%	0.8%	2.5%	1.4%	0.0%

利用しない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体(n=1313)	3.5%	0.5%	50.1%	45.9%	52.5%	1.2%	52.7%	0.9%	30.5%	24.4%
蒲生地区(n=102)	3.4%	0.9%	50.0%	44.0%	50.0%	1.7%	47.4%	1.7%	41.4%	22.4%
始良地区(n=764)	3.6%	0.4%	50.2%	46.0%	54.4%	1.2%	54.6%	1.1%	26.8%	25.6%
加治木地区(n=332)	3.7%	0.6%	51.1%	46.9%	50.3%	0.8%	52.2%	0.0%	36.0%	22.8%

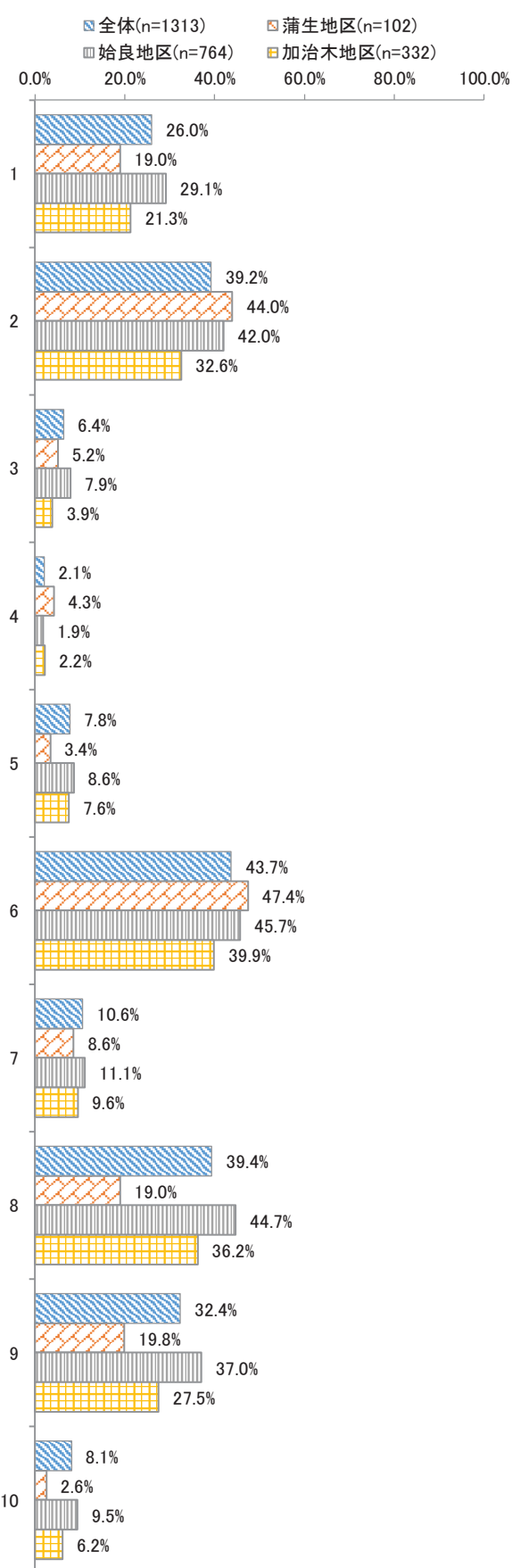
※ 0.0% 属性の中で上位3位のもの（灰色塗りつぶし、白抜き文字）

- 1.小規模店舗 2.スーパー、ドラッグストア等（生鮮食料品を購入するところ） 3.幼稚園・保育園・託児所
 4.小学校・中学校 5.高等学校 6.病院・診療所 7.福祉施設（高齢者施設、障害者施設等） 8.銀行・郵便局
 9.図書館（室） 10.公民館・集会所

【住んでいる校区】

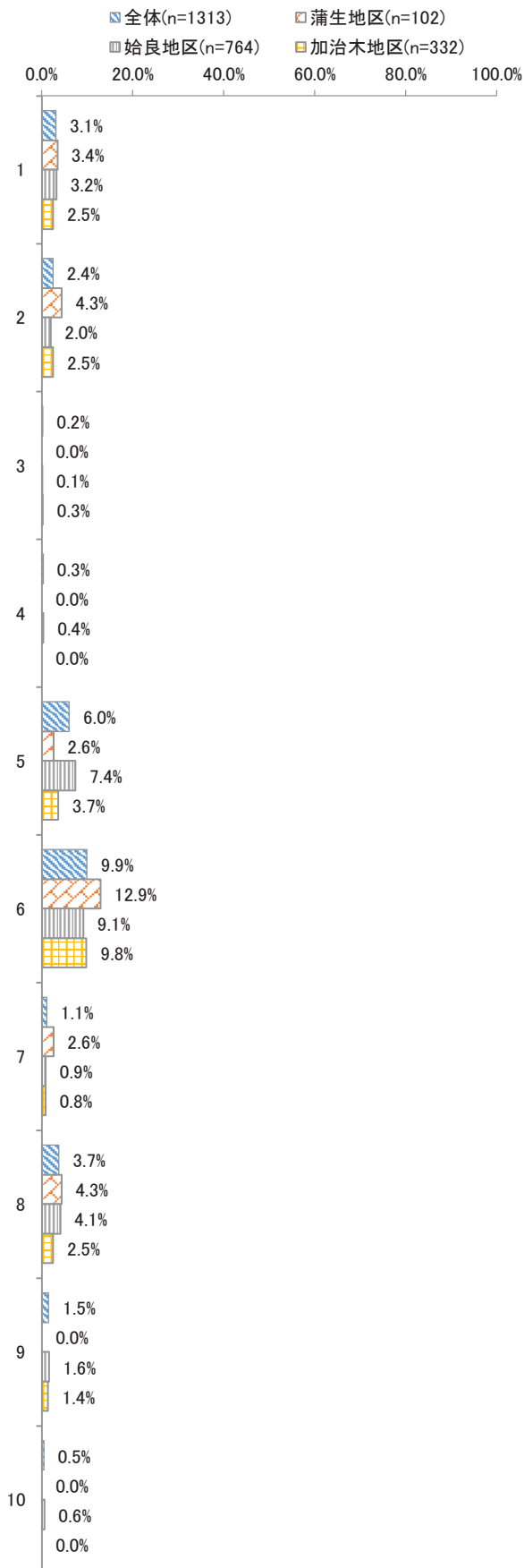


【校区外(始良市内)】

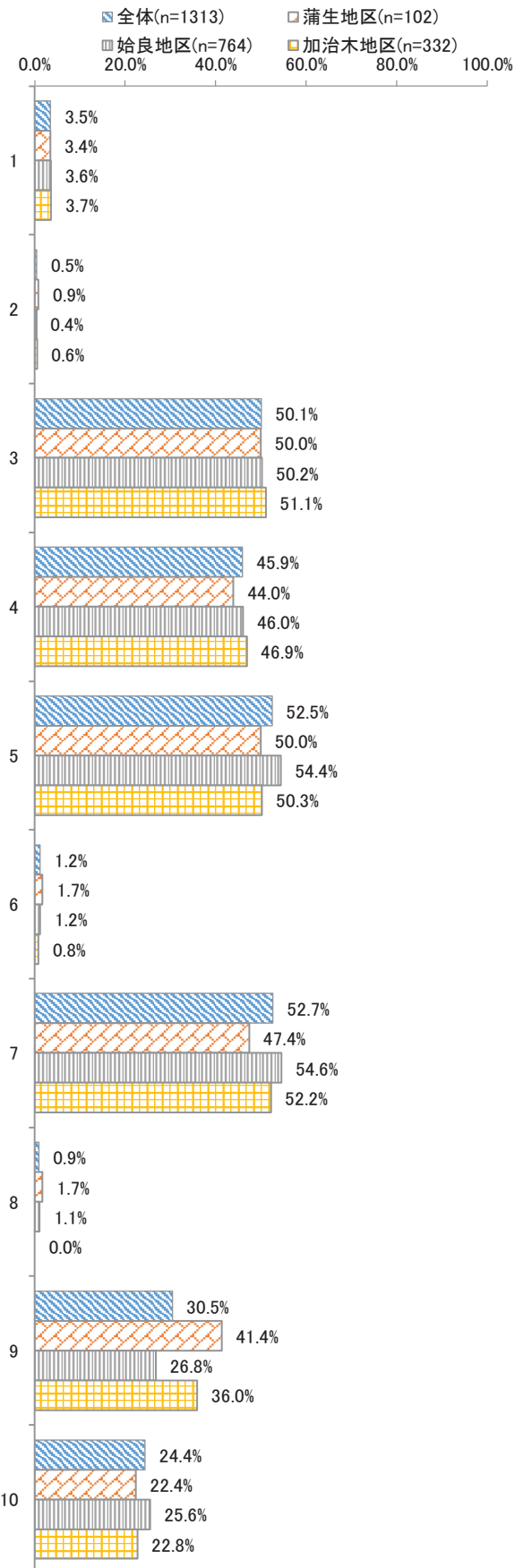


- 1.小規模店舗 2.スーパー、ドラッグストア等（生鮮食料品を購入するところ） 3.幼稚園・保育園・託児所
 4.小学校・中学校 5.高等学校 6.病院・診療所 7.福祉施設（高齢者施設、障害者施設等） 8.銀行・郵便局
 9.図書館（室） 10.公民館・集会所

【始良市外】



【利用しない】

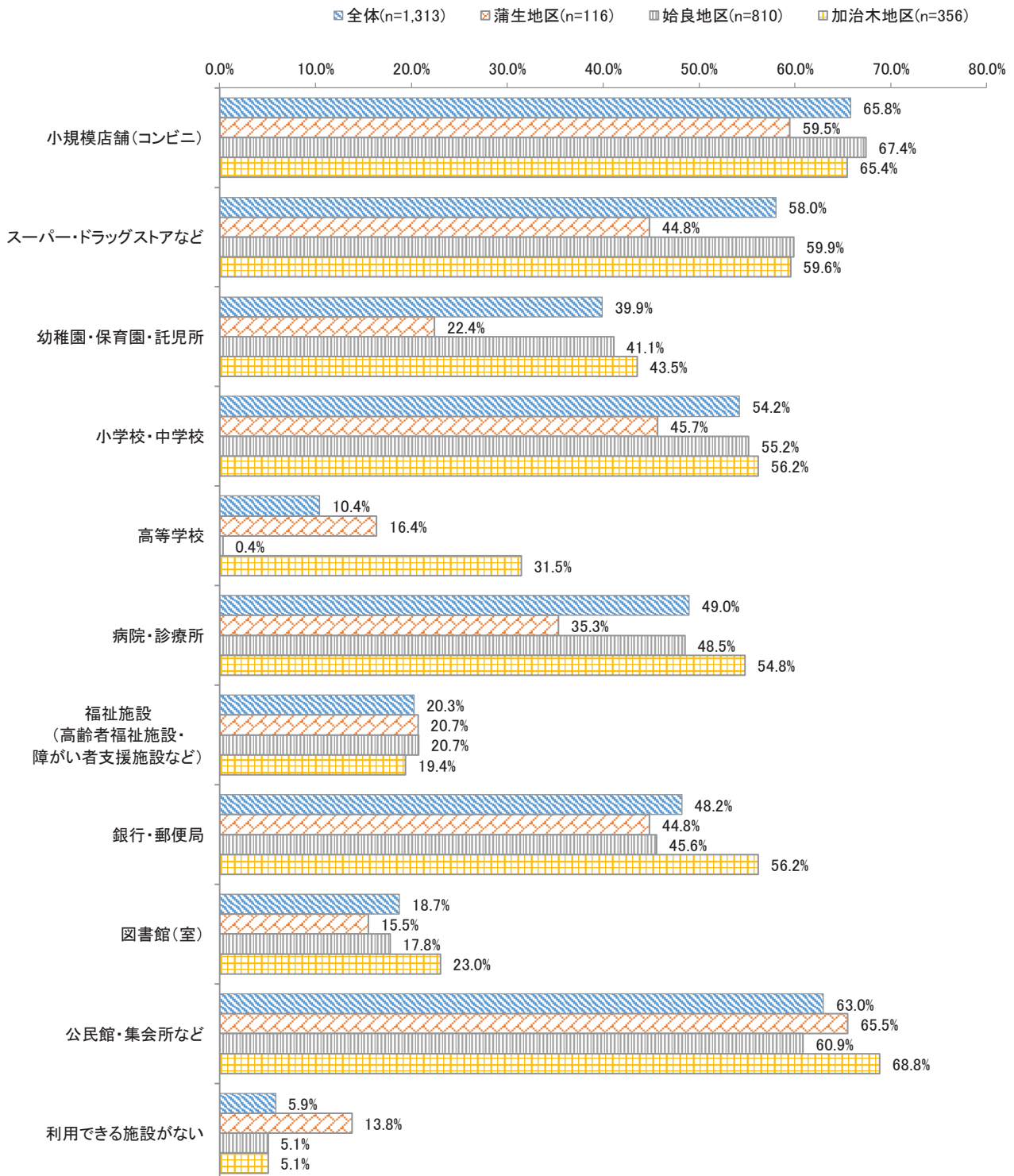


問9 現在お住まいの自宅から歩いていける範囲（徒歩で10分程度 500m～1Km位まで）にある施設はどれですか。（該当するもの全てに○印をしてください。）

自宅から歩いていける範囲の施設について、「小規模店舗（コンビニ）」（65.8%）が最も多く、次いで「公民館・集会所など」（63.0%）、「スーパー・ドラッグストアなど」（58.0%）の順となっている。

地区別でみると、始良地区（67.4%）では「小規模店舗（コンビニ）」、蒲生地区（65.5%）・加治木地区（68.8%）では「公民館・集会所など」の割合が最も高くなっている。また、蒲生地区では、「スーパー・ドラッグストアなど」「幼稚園・保育園・託児所」「病院・診療所」の割合が、全体と比較して10ポイント以上低くなっている。更に、始良地区では、「高等学校」の割合が0.4%と、他と比べて大幅に低くなっている。

【自宅から歩いていける施設】



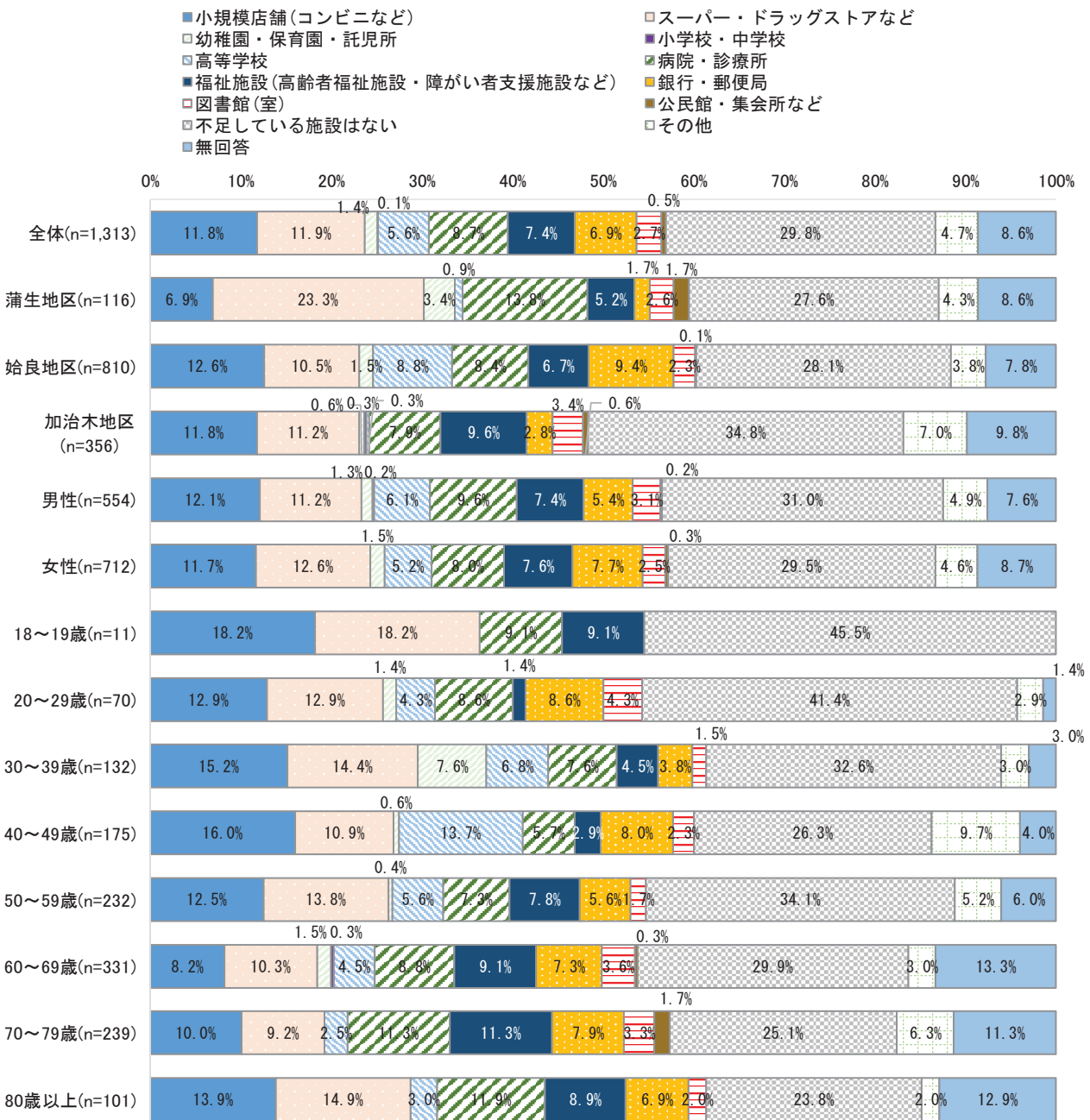
問 10 現在お住まいの校区（校区コミュニティ）内で、不足している施設のうち最も必要性を感じる施設はどれですか（○印は1つ）

最も必要性を感じる施設について、「不足している施設はない」（29.8%）の割合が最も高く、次いで「スーパー・ドラッグストアなど」（11.9%）、「小規模店舗（コンビニなど）」（11.8%）の順となっている。

地区別で見ると、蒲生地区（23.3%）では「スーパー・ドラッグストアなど」の割合が、始良地区（12.6%）・加治木地区（11.8%）では「小規模店舗（コンビニなど）」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

年代別で見ると、18～19歳（18.2%）、20～29歳（12.9%）では「小規模店舗（コンビニなど）」「スーパー・ドラッグストアなど」、30～39歳（15.2%）、40～49歳（16.0%）では「小規模店舗（コンビニなど）」、50～59歳（13.8%）、60～69歳（10.3%）80歳以上（14.9%）では「スーパー・ドラッグストアなど」、70～79歳（11.3%）では「病院・診療所」「福祉施設（高齢者福祉施設・障がい者支援施設など）」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

【不足している施設】



その他
プール
室内運動施設
屋外運動施設
公園
温泉
学童
療育施設
児童館
コミュニティバス
バス停・駅
駐車場
シェアハウス

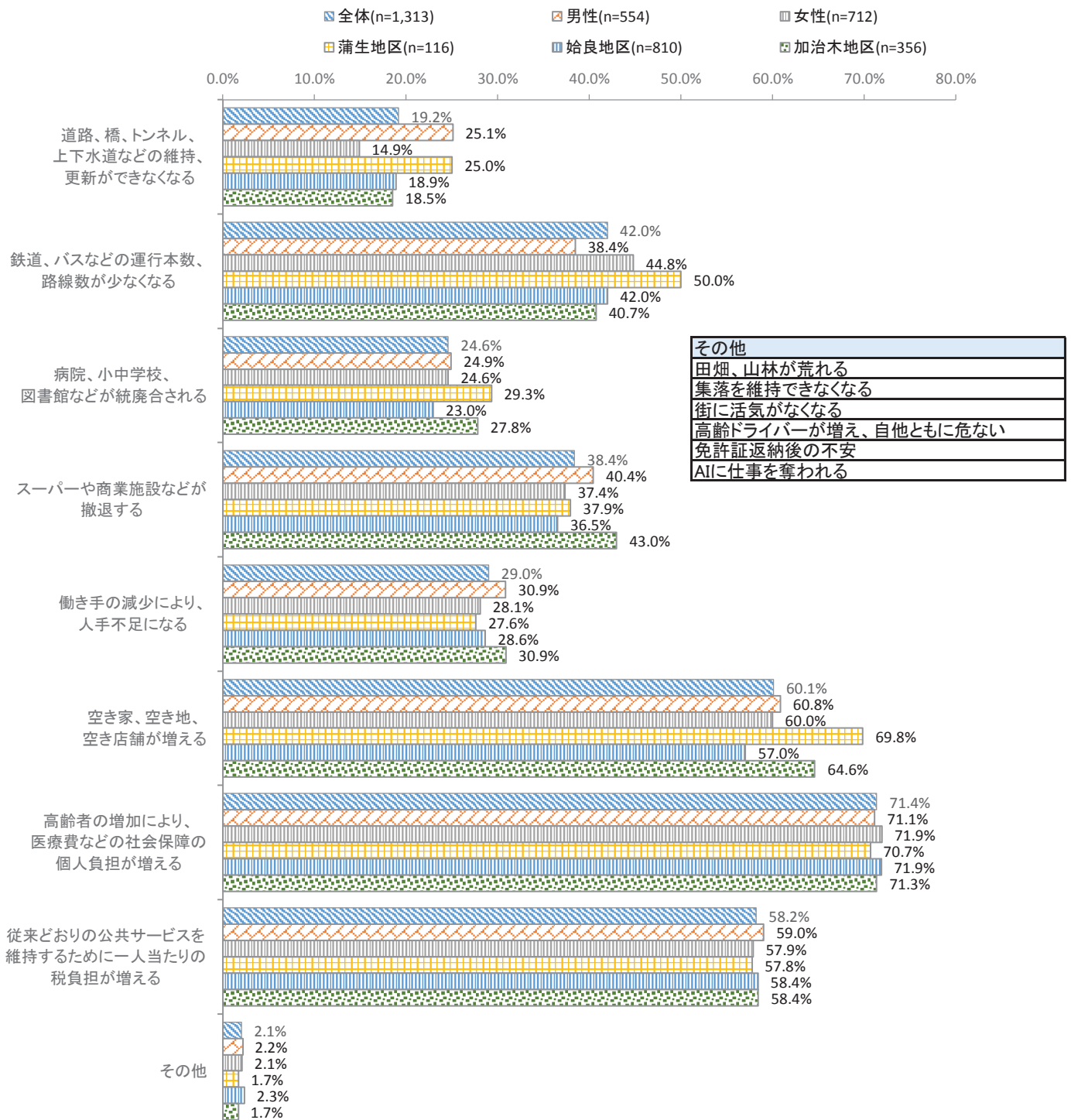
問 11 人口減少、高齢化が進むことにより、普段の生活に影響がでてくると思われる事は何ですか。(該当するもの全てに○印をしてください。)

人口減少、高齢化の進展による影響について、「高齢者の増加により、医療費などの社会保障の個人負担が増える」(71.4%)の割合が最も高く、次いで「空き家、空き地、空き店舗が増える」(60.1%)、「従来どおりの公共サービスを維持するために一人当たりの税負担が増える」(58.2%)の順となっている。

性別で見ると、男性(71.1%)・女性(71.9%)ともに「高齢者の増加により、医療費などの社会保障の個人負担が増える」の割合が最も高くなっている。

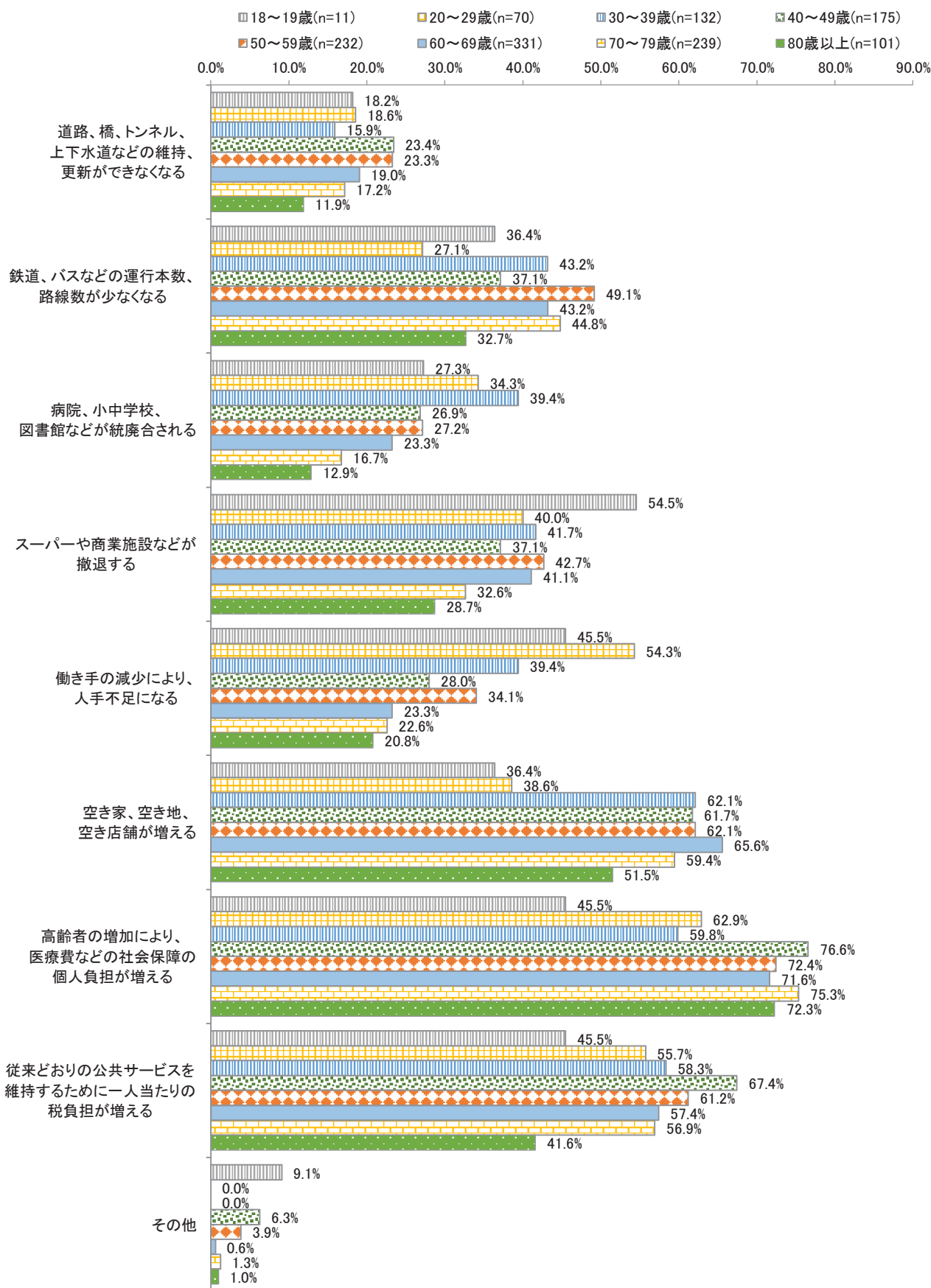
地区別で見ると、蒲生地区において、「道路、橋、トンネル、上下水道などの維持、更新ができなくなる」、「鉄道、バスなどの運行本数、路線数が少なくなる」、「空き家、空き地、空き店舗が増える」の割合が他の地区と比べて5ポイント以上高くなっている。また、加治木地区においては「スーパーや商業施設などが撤退する」の割合が他の地区と比べて高くなっている

【人口減少、高齢化が進むことにより影響が出てくると思われること(性別・地区別)】



年代別でみると、20～29歳(62.9%)・40～49歳(76.6%)・50～59歳(72.4%)・60～69歳(71.6%)・70～79歳(75.3%)・80歳以上(72.3%)は「高齢者の増加により、医療費などの社会保障の個人負担が増える」、30～39歳(62.1%)は「空き家、空き地、空き店舗が増える」、18～19歳(54.5%)は「スーパーや商業施設などが撤退する」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

【人口減少、高齢化が進むことにより影響が出てくると思われること(年代別)】



IV 第2部 始良市の市政運営、施策について 調査結果

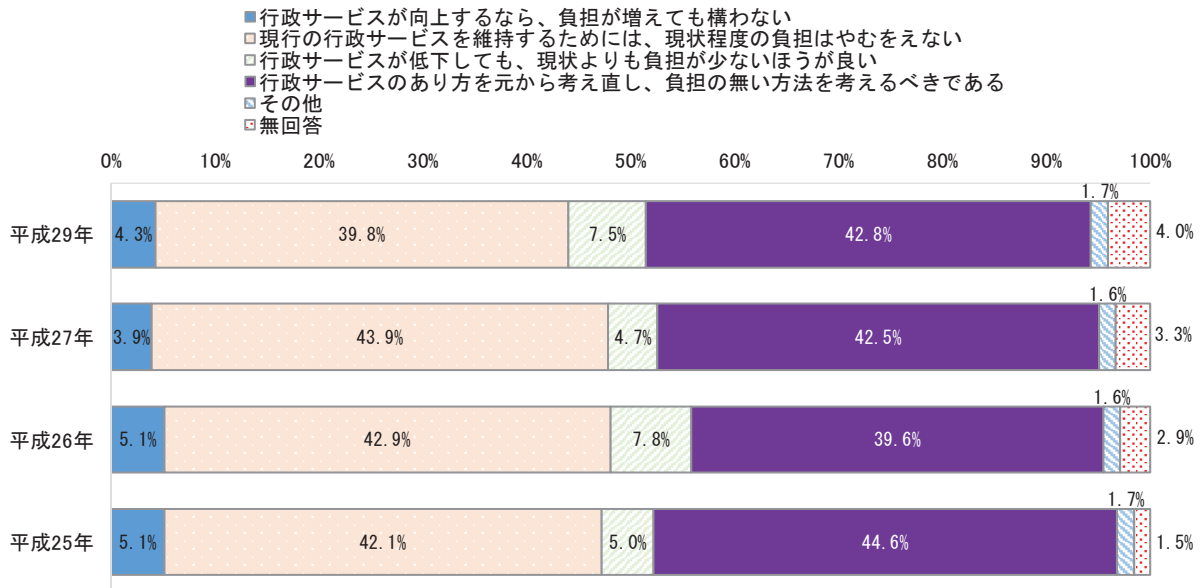
問 12 全国的な少子高齢化、人口の減少により、今後、現在の行政サービスの水準を維持することが困難になることも予測されます。

あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(○印は1つ)

今後の行政サービスのあり方について、「行政サービスのあり方を元から考え直し、負担の無い方法を考えるべきである」(42.8%)が最も多く、次いで「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」(39.8%)の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても、大きな変化はみられなかった。

【今後の行政サービスのあり方（経年比較）】



その他
サービス向上、負担維持
人口、若者を増やす努力をして欲しい

属性		サンプル数	行政サービスが向上する なら、負担が増えても 構わない	現行の行政サービスを 維持するためには、現 状程度の負担はやむを えない	行政サービスが低下し ても、現状よりも負担が 少ないほうが良い	行政サービスのあり方 を元から考え直し、負担 の無い方法を考えるべ きである	その他	無回答
全体		1313	56 4.3%	522 39.8%	98 7.5%	562 42.8%	22 1.7%	53 4.0%
性別	男性	554	33 6.0%	210 37.9%	49 8.8%	231 41.7%	16 2.9%	15 2.7%
	女性	712	21 2.9%	293 41.2%	47 6.6%	317 44.5%	6 0.8%	28 3.9%
年代別	18～19歳	11	1 9.1%	5 45.5%	0 0.0%	4 36.4%	1 9.1%	0 0.0%
	20～29歳	70	4 5.7%	39 55.7%	7 10.0%	20 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	132	7 5.3%	55 41.7%	8 6.1%	58 43.9%	1 0.8%	3 2.3%
	40～49歳	175	6 3.4%	74 42.3%	12 6.9%	78 44.6%	4 2.3%	1 0.6%
	50～59歳	232	13 5.6%	88 37.9%	11 4.7%	104 44.8%	8 3.4%	8 3.4%
	60～69歳	331	12 3.6%	120 36.3%	35 10.6%	144 43.5%	5 1.5%	15 4.5%
	70～79歳	239	7 2.9%	94 39.3%	17 7.1%	106 44.4%	3 1.3%	12 5.0%
	80歳以上	101	6 5.9%	39 38.6%	6 5.9%	41 40.6%	0 0.0%	9 8.9%
居住地別	蒲生地区	116	5 4.3%	44 37.9%	7 6.0%	51 44.0%	2 1.7%	7 6.0%
	始良地区	810	30 3.7%	318 39.3%	62 7.7%	361 44.6%	12 1.5%	27 3.3%
	加治木地区	356	19 5.3%	150 42.1%	25 7.0%	142 39.9%	8 2.2%	12 3.4%
居住年別	1年未満	27	2 7.4%	10 37.0%	2 7.4%	13 48.1%	0 0.0%	0 0.0%
	1～5年	101	9 8.9%	51 50.5%	8 7.9%	31 30.7%	1 1.0%	1 1.0%
	5～10年	101	6 5.9%	38 37.6%	6 5.9%	44 43.6%	5 5.0%	2 2.0%
	10～30年	490	24 4.9%	207 42.2%	36 7.3%	202 41.2%	7 1.4%	14 2.9%
	30年以上	578	14 2.4%	213 36.9%	44 7.6%	266 46.0%	9 1.6%	32 5.5%

※ 0.0% 属性の中で構成率が最も高いもの(灰色塗りつぶし、白抜き文字)

性別で見ると、男性(41.7%)・女性(44.5%)ともに「行政サービスのあり方を元から考え直し、負担の無い方法を考えるべきである」の割合が最も高くなっている。

年代別で見ると、30～39歳(43.9%)・40～49歳(44.6%)・50～59歳(44.8%)・60～69歳(43.5%)・70～79歳(44.4%)・80歳以上(40.6%)は「行政サービスのあり方を元から考え直し、負担の無い方法を考えるべきである」、18～19歳(45.5%)・20～29歳(55.7%)は「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

地区別で見ると、蒲生地区(44.0%)・始良地区(44.6%)は「行政サービスのあり方を元から考え直し、負担の無い方法を考えるべきである」、加治木地区(42.1%)は「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

居住期間別で見ると、1年未満(48.1%)・5～10年(43.6%)・30年以上(46.0%)は「行政サービスのあり方を元から考え直し、負担の無い方法を考えるべきである」、1～5年(50.5%)・10～30年(42.2%)は「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

【今後の行政サービスのあり方（属性別）】

- 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない
- 現行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむをえない
- 行政サービスが低下しても、現状よりも負担が少ないほうが良い
- 行政サービスのあり方を元から考え直し、負担の無い方法を考えるべきである
- その他
- 無回答

